

令和6年度
事業報告書



Mission statement

日本赤十字社の使命

わたしたちは、苦しんでいる人を救いたいという思いを結集し、
いかなる状況下でも、人間のいのちと健康、尊厳を守ります。

わたしたちの基本原則

わたしたちは、世界中の赤十字が共有する
7つの基本原則にしたがって行動します。

- 人 道：人間のいのちと健康、尊厳を守るため、
苦痛の予防と軽減に努めます。
- 公 平：いかなる差別もせず、最も助けが必要な人を優先します。
- 中 立：すべての人の信頼を得て活動するため、
いっさいの争いに加わりません。
- 独 立：国や他の援助機関の人道活動に協力しますが、
赤十字としての自主性を保ちます。
- 奉 仕：利益を求めず、人を救うため、自発的に行動します。
- 単 一：国内で唯一の赤十字社として、
すべての人に開かれた活動を進めます。
- 世界性：世界に広がる赤十字のネットワークを生かし、
互いの力を合わせて行動します。

わたしたちの決意

わたしたちは、赤十字運動の担い手として、
人道の実現のために、
利己心と闘い、無関心に陥ることなく、
人の痛みや苦しみに目を向け、
常に想像力をもって行動します。

目 次

はじめに	1
令和6年度山口県支部事業報告概要	2
1 災害救護	3
2 講習事業	13
3 青少年赤十字活動	16
4 国際活動	21
5 赤十字奉仕団による活動	23
6 赤十字思想の普及	30
7 赤十字活動資金の確保	36
8 医療事業	39
9 看護師の養成	43
10 血液事業	44
11 評議員会及び監査	49
[巻末]	
決算資料	50～54
資料編	55～65

はじめに

平素より日本赤十字社山口県支部・施設の活動に、格別のご支援とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

昨年は、日本の各地で地震や大雨、また山林火災など多くの自然災害に見舞われました。なかでも石川県では1月に能登半島地震に襲われ、更に9月には大雨災害に見舞われました。また今年に入り2月下旬には東日本大震災の被災地でもある岩手県大船渡市において大規模な山林火災があり、同様の山林火災は愛媛県今治市、岡山県岡山市などでも発生しました。

これらの災害は大きな人的、物的被害をもたらしており、被災された皆様に、改めて心からお見舞い申し上げます。被災地には長期にわたる支援が必要です。日本赤十字社は、今後とも被災地支援に取り組んでまいります。

一方、国外に目を向けますと、収束の兆しが見えない武力紛争や、地震、洪水、干ばつなどの自然災害による人道危機は増々深刻さを増しています。直近では3月下旬にミャンマーで発生した地震により多くの命が失われています。

こうした世界各地で発生する人道危機に対し、日本赤十字社は、赤十字国際委員会や国際赤十字・赤新月社連盟、世界中の赤十字社、赤新月社と連携し、救援・復興活動にあたっています。これからも「人間のいのちと健康、尊厳を守る」という使命を、しっかりと果たし続けてまいります。

さて、令和6年度の山口県支部・施設の活動を振り返りますと、支部事業では、災害に備えた救護員の研修や訓練、県民の皆様には防災・減災の知識・技術を普及する赤十字防災セミナーの開催などに、しっかりと取り組めた1年でした。

医療事業では、課題となっております病院の収支改善について、山口赤十字病院では経営改善計画を策定。また、小野田赤十字病院では改善に向けたロードマップが本社医療施設経営会議で承認され、具体的な取り組みを開始いたしました。

血液事業では、多くの県民の皆様の献血へのご協力により、概ね計画通りに血液を確保し、医療機関に対し不足なく血液製剤を供給することが出来ました。

これらの山口県支部・施設の活動は、私たちの活動に心を寄せてくださる皆様に支えられています。そこには「困難な状況にある人たちを助きたい」という温かいお気持ちと、赤十字に対する信頼が込められています。

私たちは、そのお気持ち・信頼にお応えできるよう、今後とも、災害救護活動、健康・安全講習の普及、青少年赤十字の育成、医療・血液事業など、赤十字の日々の活動を途切れることなく続けてまいりますので、皆様には引き続きご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

日本赤十字社山口県支部

令和6年度 山口県支部 事業報告概要

●災害救護

- ・令和6年能登半島地震災害への対応
- ・災害時に備えた救護員等の訓練・研修の実施
- ・防災・減災に関する知識・技術の普及
(年間73回、受講者3,542人)



●講習事業

- ・3年連続受講者目標1万人を達成(年間345回)
- ・講習管理システムの導入による事務処理の効率化



●青少年赤十字活動

- ・賛助奉仕団と連携した加盟校促進(11校増)
- ・青少年赤十字メンバーの資質につながる取組を継続
(リーダーシップ・トレーニング・センターや出前授業、オンラインセミナーなど)



●国際活動

- ・アジア・大洋州に対する支援事業に参加
- ・海外救援金の募集



●赤十字奉仕団による活動

- ・団員に対する会議や研修会、ボランティアリーダーの養成等を実施
- ・活動助成制度による地域奉仕団に対する活動支援
- ・奉仕団同士の顔の見える関係づくりを促進



●赤十字思想の普及・赤十字活動資金の確保

- ・赤十字運動月間キャンペーンの実施
- ・レノファ山口とのパートナーシップ協定に基づくイベントの実施
- ・国際人道法の普及(受講者254人)
- ・6年連続で活動資金募集目標2億円超を達成



1 災害救護

日本赤十字社が取り組む災害救護は、自らが達成すべき人道的任務です。

山口県支部では、頻発化・激甚化・広域化する災害に備え、常備救護班等や災害医療コーディネイトチームを編成し、訓練や研修を行うとともに、必要な資器材の整備・更新を行うなど、災害救護体制の維持・強化を図りました。

(1) 令和6年能登半島地震災害の対応

令和6年1月1日に発生した令和6年能登半島地震の救護活動として、こころのケア要員を現地へ派遣しました。また、県赤十字防災奉仕団員による支部支援活動が実施されました。

派遣班	派遣数	派遣期間	派遣場所
こころのケア要員	事務職 (1人)	4月2日～8日	輪島市



こころのケア



支部支援活動

(2) 救護班の編成、救護員の訓練・研修の実施

① 救護員の登録と救護班の編成

災害発生後、直ちに医療救護活動ができるよう、支部・施設から職員を救護員として登録するとともに、山口及び小野田赤十字病院に医師、看護師等による常備救護班8個班を編成しました。

【救護員の区分別登録者数および施設別救護班編成状況】（令和7年3月31日現在）（単位：人）

区分 施設	常備救護班 編成数	本部災害対策 要員	救護班要員						血液供給要員	本部支災害対策 要員	支 部 災害 対策	合計
			医師	看護師長	看護師	主事	薬剤師	助産師				
支 部	—	10	—	—	—	—	—	—	—	—	10	
山口赤十字病院	6 個班	6	12	12	24	24	2	—	—	6	86	
小野田赤十字病院	2 個班	3	2	2	4	15	2	—	—	—	28	
血液センター	—	6	—	—	—	17	—	—	9	4	36	
合 計	8 個班	25	14	14	28	56	4	0	9	10	160	

【救護班 1 個班の編成基準】

医師（班長）	看護師長	看護師	主事（事務）	計
1 人	1 人	2 人	2 人	6 人

※第 1 班には、薬剤師 1 人を加える。

②日赤災害医療コーディネートチーム（CoT）の編成

大規模災害時の医療ニーズの把握や本社・支部の災害対策本部に対する助言、被災地自治体保健医療福祉調整本部との連携・調整を図るための災害医療コーディネートチームを山口及び小野田赤十字病院に 3 チーム編成しました。

施設名	コーディネーター（医師）	コーディネートスタッフ （看護師、薬剤師、事務職員）	チーム数
山口赤十字病院	3 人	5 人	2 チーム
小野田赤十字病院	1 人	2 人	1 チーム

③DMAT（災害派遣医療チーム）の編成

災害急性期（概ね発災後 48 時間以内）に活動できる機動性を持った、専門的な訓練を受けた医療チームを山口赤十字病院に 2 チーム編成し、県内外で発生する災害に備えました。

施設名	チーム数	医師	看護師	業務調整員	合計
山口赤十字病院	2 チーム	3 人	7 人	4 人	14 人

④救護員の訓練・研修

赤十字の使命である災害救護活動を迅速かつ的確に実施するため、新たな救護員育成体系に基づき訓練や研修を実施しました。

また、中国・四国各県支部との合同訓練や徳山海上保安部との合同訓練、県が実施した保健所本部運営研修などを通じて、各県支部や防災関係機関との連携強化に努めました。

【災害救護訓練】

訓練名	開催月日	主催	会場	参加者数
山口県総合防災訓練	5月26日	訓練実行委員会	下関市長府扇町第1運動場	11人 (ボランティア2人)
日本赤十字社中国・四国各県支部合同災害救護訓練	11月8日～9日	日本赤十字社山口県支部	日本赤十字社山口県支部	45人
救護員としての赤十字看護師研修総合演習	11月21日	日本赤十字社山口県支部	日本赤十字社山口県支部	11人
徳山海上保安部との合同訓練	2月20日	徳山海上保安部共催	徳山海上保安部	7人
山口県支部災害救護演習	3月8日	日本赤十字社山口県支部	日本赤十字社山口県支部	19人

【災害救護研修】

研修名	開催月日	主催	会場	参加者数
救護員共通課程研修	5月	日本赤十字社山口県支部	オンライン	68人
救護班要員研修Ⅰ(主事)	7月20日	日本赤十字社山口県支部	日本赤十字社山口県支部	13人
救護班要員研修Ⅰ(医師・看護師)	9月28日	日本赤十字社山口県支部	日本赤十字社山口県支部	28人
日赤災害医療コーディネート研修会	7月5日～6日 11月22日～23日	日本赤十字社	日本赤十字社本社	各1人
救護員としての赤十字看護師研修	2月～11月	山口・小野田赤十字病院	日本赤十字社山口県支部	15人
こころのケア指導者養成研修会	10月7日～8日	日本赤十字社	日本赤十字社本社	1人

研修名	開催月日	主催	会場	参加者数
こころのケア要員養成 研修会	11月23日	日本赤十字社 山口県支部	日本赤十字社 山口県支部	32人
支部災害対策本部要員 研修会	1月29日	日本赤十字社 山口県支部	日本赤十字社 山口県支部	12人
全国赤十字救護班研修会	2月22日 ～23日	第5ブロック 及び本社	日本赤十字社 広島県支部	10人
保健所本部運営研修	2月10日	山口県	防府保健所	2人
日赤災害医療コーディネート フォローアップ研修会	2月15日	日本赤十字社	オンライン	11人



山口県総合防災訓練



日本赤十字社中国・四国各県支部
合同災害救護訓練



徳山海上保安部との合同訓練



山口県支部災害救護演習

(3) 救護装備の整備

災害時等に迅速・的確に対応するための救護装備の維持管理を行いました。

【救護用資機材保有数】

(令和7年3月31日現在)

品目	支部	病院	血液センター	合計
医療セット	2セット	2セット		4セット
パイプテント	8張			8張
ドラッシュテント	2張			2張
エアテント	2張	1張		3張
担架	20台	3台		23台
折畳寝台	33台	9台		42台
発電機	6台			6台
蓄電池	5台			5台
投光器	4台			4台
折畳テーブル	4台			4台
折畳ホワイトボード	2台			2台
個人線量計	28個			28個
サーバイメーター	1個			1個
NBC 除染セット	1セット			1セット
衛星電話	5台	2台	2台	9台
無線 (150MHz)	20台	5台	5台	30台
無線 (400MHz)	15台	2台		17台

【救護用車両保有数】

(令和7年3月31日現在)

車両種別	支部	山口赤十字病院	小野田赤十字病院	合計
救急車	1台	1台	1台	3台
災害救援車	7台	1台		8台
合計	8台	2台	1台	11台

○AEDの整備

地区・分区の要請に応じ公共施設等へAEDを新規設置するとともに、既設AEDの更新整備を行いました。

【AEDの整備台数】(単位：台)

新規	更新	設置台数
		(令和7年3月31日現在)
2	15	115

(4) 救援物資の備蓄

赤十字では、災害の発生に備えて救援物資を備蓄しており、被災者へ速やかに配布できるよう、一部を地区・分区に分置しています。令和6年度も地区・分区の要請に応じて対応しました。

【地区・分区要請数】

地区・分区	毛布	緊急セット	安眠セット	バスタオル	タオルケット
宇部市	40枚	—	—	400枚	—
山口市	—	—	3セット	—	—
下松市	—	—	—	20枚	—
柳井市	—	11セット	—	—	—
美祢市	50枚	—	—	—	—
周防大島町	10枚	6セット	—	10枚	—
合計	100枚	17セット	3セット	430枚	0枚

【総備蓄数】

(令和7年3月31日現在)

地区分区	毛布	緊急セット	安眠セット	バスタオル	タオルケット
地区分区	4,523枚	507セット	444セット	1,215枚	0枚
小野田赤十字病院	180枚	696セット	30セット	0枚	500枚
山口県支部	312枚	375セット	93セット	445枚	800枚
合計	5,015枚	1,578セット	567セット	1,660枚	1,300枚



毛布



緊急セット



安眠セット



バスタオル

(5) 臨時救護

公式な式典、大会等に際して、参加される多くの人々の万が一に備えるために、令和6年度も救護員を派遣しました。

【派遣実績】

主催者等	回数 のべ日	主な行事名	主な 派遣場所	のべ 派遣数
山口県	1回/3日	山口県南方地域戦没者 「防長英霊の塔」慰霊祭	沖縄県	1人
山陽小野田市	6回/6日	やけの美タフェスタ ほか	山陽小野田市	6人
独立行政法人高齢・ 障害・求職者雇用支援 機構	1回/1日	アビリンピックやまぐち	山口市	1人
公益財団法人山口県 体育協会	2回/2日	やまぐち未来アスリート チャレンジ	山口市	2人
一般財団法人山口陸上 競技協会	1回/1日	第53回全日本実業団ハーフ マラソン大会	山口市	1人
	1回/1日	山口県読売駅伝 2025		2人
山口青年会議所	1回/2日	青空天国いこいの広場	山口市	2人
山口県障害者スポーツ 大会運営委員会	1回/1日	全国障害者スポーツ大会 派遣選手選考委員会	山口市	3人
山口商工会議所	3回/4日	山口七夕ちょうちんまつり	山口市	3人
NHK 山口放送局	3回/3日	学校音楽コンクール	山口市	3人
公益財団法人 山口県消防協会	1回/1日	山口県消防操法大会	山口市	1人
ツール・ド・しものせき 実行委員会	1回/1日	ツール・ド・しものせき 2024	下関市	5人
日本赤十字社山口県 支部	3回/9日	青少年赤十字リーダーシップ・ トレーニング・センター	山口市	3人

(6) 災害被災者支援

県内で災害等の被害にあわれた方々に対して、毛布・緊急セット・バスタオル等の救援物資を配布しました。また、災害により死亡された方のご遺族に対して弔慰金を交付しました。

【配布数】

	毛布	緊急セット	安眠セット	バスタオル
配布数	10枚	9セット	4セット	8枚

【死亡者弔慰金】

件数	交付金額
22件	440,000円

(7) 義援金の募集

国内の災害に際し、義援金を募集し、被災地の支部に送金しました。

義援金区分	件数	金額
令和6年能登半島地震災害義援金	572件	35,842,641円
令和6年7月25日からの大雨災害義援金	65件	539,419円
令和6年9月能登半島大雨災害義援金	218件	13,059,313円
令和6年沖縄県北部豪雨災害義援金	26件	169,480円
令和7年大船渡市赤崎町林野火災義援金	30件	300,361円
合計	911件	49,911,214円

(8) 災害時に救護活動を支援するボランティア等の育成

日赤山口県支部が実施する救護活動を支援する登録ボランティアである防災奉仕団員等の知識・技術の向上を目的とした研修会を実施しました。

研修名	開催月日	主催	会場	参加者数
災害救護活動研修	6月30日	日本赤十字社 山口県支部	日本赤十字社 山口県支部	25人



(9) 防災・減災の普及・啓発

地域の防災に関する知識・意識の向上と自助・共助の力を高めていくことを目的に、赤十字防災セミナー等広く県民を対象とした防災・減災の知識・技術の普及に取り組みました。

①生活協同組合コープやまぐちと防災分野における包括連携協定を締結

生活協同組合コープやまぐちと日本赤十字社山口県支部は、8月28日に防災分野における包括連携協定を締結し、共に防災に強い地域づくりを目指していくことを確認しました。

【協定の主な内容】

・ 防災思想の普及・啓発

イベントやキャンペーンを通じて、地域の防災意識を高める活動を展開

・ 防災に強い地域づくり

「場・機会」の提供を通じて、地域の防災力を強化



②赤十字防災セミナー・講習の実施

防災・減災に関する知識・意識・技術の普及に向け、支部主催の赤十字防災セミナー等の開催や、赤十字防災セミナー等の開催を希望する自治会、学校、企業等に対し、積極的にその要請に対応しました。

【支部主催セミナー】

名称	実施日	会場	受講者数
《コープやまぐち共催》 地域で仲良く学ぼうさい	9月4日	アクティブ柳井	91人
	3月10日	学び・交流プラザ	78人
親子防災教室	3月1日	日本赤十字社山口県支部	30人
SDGs 防災教育プロジェクト	11月21日	下関市立養治小学校	52人
	1月21日	梅光学院中学校・ 高等学校	165人



地域で仲良く学ぼうさい
in 周南



親子防災教室



梅光学院中学校・高等学校

【依頼セミナー等の実施状況】

依頼先等	実施回数	受講者数
行政関係等	12回	425人
地区・分区等	3回	381人
自治会等	17回	608人
企業、団体等	14回	539人
学校関係	13回	926人
奉仕団等	9回	247人
合計	68回	3,126人

③赤十字防災セミナー等の実施体制の充実・強化

赤十字防災セミナー等を普及する指導者の増強及び指導力向上を図りました。

研修名	実施時期	会場	参加者数
防災教育事業主任指導者研修及び フォローアップ研修	9月14日 ～15日	日本赤十字社 本社	1人
防災教育事業指導者養成研修会	9月23日 10月19日	日本赤十字社 山口県支部	12人



2

講習事業

日本赤十字社では、「人間の苦痛を予防・軽減し、生命の尊厳を確保する」という赤十字の理念を、具体的な知識や技術として一般の人々に広めることを目的として、『いのちを守る赤十字講習会』を開催しています。

令和6年度は、10,000人を超える方に講習を受講していただきました。また、「赤十字ベーシックライフサポーター※」の認定を受けることができる救急法基礎講習会を新たに4市で開催出来ました。(萩市、美祢市、防府市、柳井市)

※ 赤十字ベーシックライフサポーターとは、救急法基礎講習を修了した受講者にお渡しする資格です。

《講習の種類と内容》

講習名	講習内容
救急法	基礎講習…心肺蘇生、AEDの使い方、気道異物除去 等 救急員養成講習…急病・けがの手当（止血・包帯・固定）、搬送 等
水上安全法	泳ぎの基本と自己保全、事故者の救助および応急手当、海・河川・湖沼での事故防止等
健康生活支援講習	誰もが迎える高齢期を、健やかに生きるために必要な健康増進の知識や、高齢者の支援・自立に役立つ介護技術等
幼児安全法	こどもに起こりやすい事故の予防と手当、こどもの病気と看病、こどもに対する心肺蘇生及びAEDの使い方等
家庭あんま術	病気の予防や疲労回復などの健康増進を目的とした、家庭でできるあんま術の知識と技術



救急法



水上安全法



健康生活支援講習



幼児安全法

(1) 短期講習・資格認定講習の実施

各講習において県民の健康・安全に役立つ具体的な知識と技術の普及に努めました。

区分		実施時期	実施回数	受講者数
短期講習	救急法短期講習	通年	275回	9,510人
	水上安全法短期講習	7月、8月	15回	642人
	健康生活支援短期講習	通年	1回	52人
	幼児安全法短期講習	通年	24回	613人
資格認定講習	救急法基礎講習	通年	15回	255人
	救急法救急員養成講習会	通年	10回	124人
	水上安全法救助員Ⅰ養成講習会	9月	1回	12人
	健康生活支援員養成講習	6月、2月	3回	27人
	幼児安全法支援員養成講習会	9月	1回	10人
合計			345回	11,245人

(2) 指導員等の養成・研修

指導員等の養成や研修等を実施し講習普及体制の強化に努めました。

【指導員等養成】

区分	実施時期	養成人数
救急法指導員	12月～3月	6人

参考：講習別指導員内訳

(令和7年3月31日現在)

区分	人数	区分	人数
救急法指導員	171人	健康生活支援講習指導員	35人
水上安全法指導員Ⅰ	7人	幼児安全法指導員	68人
水上安全法指導員Ⅱ	19人		

【研修会の実施】

研修名	実施時期	会場	参加者数
救急法指導員研修会	5月18日	山口県総合保健会館	85人
健康生活支援講習指導員研修会	6月2日	日本赤十字社山口県支部	13人
幼児安全法指導員研修会	6月2日	日本赤十字社山口県支部	23人
救急法指導員地区研修会	7月6日	宇部総合福祉会館	8人
	9月15日	周南市徳山保健センター	8人

(3) 講習管理システム

講習事業の事務内容を一元管理し、事務作業の効率化を図るため講習管理システムを導入しました。

講習管理システムの主な特徴
<ul style="list-style-type: none">・インターネットによる受講者受付・受付者情報のデータファイルへの自動取込・受講証・認定証の一元発行・受講履歴・指導員実績の一元管理・各種報告書の集計処理



3 青少年赤十字活動

赤十字精神に基づいて世界の平和と人類の福祉に貢献できる青少年を育成するため、学校教育の中で青少年赤十字活動が行われています。学校においてこの活動が活発に行われるよう加盟園・校の拡大を進めるとともに、指導体制の充実や青少年赤十字メンバーの資質の向上に努めました。

(1) 加盟園・校の拡大と活動の充実

①加盟園・校の拡大

各市町での教員の集まる機会などに職員や賛助奉仕団員が訪問し、加盟促進を図りました。

区分	令和5年度 加盟園・校	令和6年度			(参考) 令和6年度 JRC加盟率
		加盟園・校	新規	脱退等	
幼稚園	17園	17園	—	—	
保育園	3園	3園	—	—	
小学校	104校	110校	12校	6校	40.6%
中学校	32校	37校	5校	—	25.3%
高等学校	35校	35校	1校	1校	50.0%
総合支援学校	1校	1校	—	—	8.3%
全体	192園・校	203園・校	18園・校	7校	39.5%

※加盟率は、山口県内の学校数（令和6年度山口県教職員録より）を分母として算出

②活動助成

県下の加盟園・校が青少年赤十字の実践目標「健康・安全、奉仕、国際理解・親善」及び態度目標「気づき、考え、実行する」に基づく学校単位で行う地域活動・研修等に対して、開催経費の一部助成を行いました。

【令和6年度の助成状況】

《新規加盟助成》

校種	助成件数	備考
小学校	11件	周防大島町立大島小学校・中学校は中学校で計上
中学校	4件	梅光学院中学校・高等学校は高等学校で計上
高等学校	1件	
合計	16件	

《JRC 活動助成》

区分	助成件数	区分	助成件数
宿泊活動	35 件	地域交流学习	1 件
清掃活動	9 件	保健活動	2 件
野外体験学習	18 件	防災学習	1 件
緑化活動	6 件	計	72 件

(2) 指導体制の充実

県教育委員会や加盟園・校の指導者で組織する指導者協議会の支援を得て、今後の活動充実と活性化を図るための会議・研修を行いました。また、日赤本社や他県が主催する協議会・研究会に指導者を派遣しました。

会議・研修名	実施時期	会場	参加者数
山口県青少年赤十字高等学校指導者協議会 校長会	6 月 7 日	かめ福 オンプレイス	28 人
山口県青少年赤十字幼保・小・中学校指導者協議会 園長・校長会	6 月 13 日	かめ福 オンプレイス	96 人
青少年赤十字全国指導者協議会総会・研修会	7 月 12 日	日本赤十字社 本社	2 人
青少年赤十字指導者研修会	6 月 29 日	日本赤十字社 広島県支部	4 人
青少年赤十字指導者中央講習会	11 月 4 日	日本赤十字社 本社	2 人
中国・四国ブロック青少年赤十字指導者協議会長並びに事務担当者会議	11 月 28 日 ～29 日	鳥取県	3 人
指導主事対象青少年赤十字研究会	1 月 10 日	日本赤十字社 本社	1 人
山口県青少年赤十字研修会	1 月 24 日	WEB 開催	105 人

(3) 青少年赤十字メンバーの資質の向上

各校や地域における青少年赤十字活動の中核となるメンバーを養成しました。

①リーダーシップ・トレーニング・センター等の実施

令和 6 年度は、山口県支部主催のリーダーシップ・トレーニング・センターを 5 年振りに全校種宿泊形式で開催しました。

また、高等学校では、県を 4 地区に分け、その地区ごとに企画される地区トレーニング・センターが 5 年振りに全地区で実施されました。

研修名	実施時期	会場	参加者数
高等学校リーダーシップ・トレーニング・センター	8月4日 ～6日	十種ヶ峰青少年 自然の家	メンバー20人 指導者11人
中学校リーダーシップ・トレーニング・センター	8月7日 ～9日	徳地青少年 自然の家	メンバー24人 指導者12人
小学校リーダーシップ・トレーニング・センター	7月29日 ～31日	十種ヶ峰青少年 自然の家	メンバー24人 指導者11人
青少年赤十字スタディー・センター	3月22日 ～26日	東照館 (山梨県)	メンバー2人
高等学校中部地区リーダーシップ・トレーニング・センター	7月25日	防府商工高等学校	メンバー 53人 指導者 6人
高等学校東部地区リーダーシップ・トレーニング・センター	7月27日	新南陽 ふれあいセンター	メンバー 21人 指導者 6人
高等学校南部地区リーダーシップ・トレーニング・センター	8月1日	Aスクエア (山陽小野田市)	メンバー 46人 指導者 6人
高等学校西部地区リーダーシップ・トレーニング・センター	8月18日 ～19日	下関市	メンバー 26人 指導者 3人
	11月16日	北九州市	メンバー34人 指導者 8人



小学校リーダーシップ・
トレーニング・センター



中学校リーダーシップ・
トレーニング・センター



高等学校リーダーシップ・
トレーニング・センター

②加盟園・校メンバーの活動

県下各園・校において、募金活動、清掃活動、野外活動など、様々な活動が行われました。

更に、高等学校では、県下加盟校全体で組織する協議会を中心に活動の企画・協議が行われ、令和6年度は「JRCの輪を広げ、絆を深めよう！」を全体テーマとし、それぞれの学校で活動が行われました。

【高等学校メンバーの活動】

活動内容	実施時期	会場	対象・人数
世界赤十字デー県下一斉ボランティア・サービス (清掃、環境美化、福祉施設訪問活動等)	通年	県下加盟高校校区等	生徒・指導者 30校 635人
山口県高等学校 青少年赤十字学習交流会	8月20日	KDDI 維新ホール	生徒・指導者 10校 50人
山口県高等学校 青少年赤十字協議会総会	9月14日	カリエンテ山口	生徒・指導者 18校 70人
高等学校協議会新役員研修会	12月7日	山口県支部	生徒・指導者 6校 14人

③赤十字講習・出前授業の実施

青少年赤十字メンバーの実践目標に向けた活動を支援するため、赤十字奉仕団の協力を得ながら赤十字講習や出前授業を行いました。

【講習会】(再掲※)

講習内容	回数	人数(対象:児童・生徒、保護者、教職員等)
救急法	81回	2,496人
防災セミナー等	12回	975人

※P11.(9)②「赤十字防災セミナー・講習の実施」、P14.(1)「短期講習・資格認定講習の実施」の再掲(JRC加盟校分)

【出前授業】

講習内容	回数	人数(対象:生徒)
JRC セミナー	3回	239人
いのちの日の授業	1回	104人
国際理解・親善	1回	191人
JRC 高齢者疑似体験	1回	120人



高齢者疑似体験 (中関小学校)



JRC セミナー (萩商工高校)

④青少年赤十字 SDGs 防災学習プロジェクトの実施（再掲※）

学校の防災意識の向上と青少年赤十字メンバーの自助・共助の力を高めることを目的に、赤十字の防災知識・技術等を学習する公開授業を開催しました。

学校名及び学年	内容
下関市立養治小学校 4～6年生	大雨防災ワークショップ、避難所体験
梅光学院中・高等学校 中学生・高校生	JRC について、家具安全対策ゲーム、大雨防災ワークショップ、国際人道法

※P11.(9)②「赤十字防災セミナー・講習の実施」の再掲

⑤高校生オンラインセミナー

高等学校における JRC 活動の活性化を目的に、赤十字事業の理解促進や社会課題を考えるセミナーをオンラインで開催しました。

【高校生オンラインセミナー】

講習内容	参加校数
能登半島地震の被災地でこころのケア活動をした日赤職員の講話	5校
他者への敬意と差別への対応に関するセミナー	2校
生徒による県・地区のリーダーシップ・トレーニング・センター（トレセン）の参加および実施報告発表	6校
大学生が主体となって活動している山口県青年赤十字奉仕団メンバーと【6W2H】でJRC活動を考えるセミナー	2校
合計	15校

（４）国際交流事業

ネパールとバヌアツの衛生教育や防災教育などを中心に支援するため、「小学生メンバーたちが自分たちのお小遣いの中から出せる金額での奉仕」として、青少年赤十字海外支援事業（1円玉募金）を実施しました。

件数	金額
3件	38,522円



大殿小学校

4

国際活動

日本赤十字社は、国際赤十字の有力な一員として、地域紛争や自然災害による犠牲者の救援や、発展途上国での保健衛生指導や防災・減災の取り組みなど国際・国内さまざまな活動を行っています。

令和6年度は、発展途上国における保健衛生事業への援助、地域紛争や被災国を支援するための救援金募集等を行いました。

(1) 「アジア・大洋州 給水・衛生キット」支援事業

中国・四国各県支部との共同事業として、洪水やサイクロンなどの災害に際し、現地で給水・衛生活動が展開できるよう資金援助を行いました。

【助成金額】

	令和5年度	令和6年度	前年対比
中国・四国各県支部拠出総額	7,000,000 円	7,000,000 円	100%
うち、山口県支部拠出額	891,201 円	873,902 円	98.6%

(2) 海外救援金の募集

① NHK 海外たすけあい

1983年から日本赤十字社とNHKが共同で実施している募金キャンペーンで、海外の紛争や災害等で苦しんでいる人々を支援するために、令和6年度も12月1日から25日の間、募金の受付を行いました。



【受付件数および受付金額】

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
総 額	件数	1,568 件	2,498 件	1,476 件	1,317 件	
	金額	8,828,844 円	11,402,566 円	13,701,468 円	6,112,631 円	
内 訳	募金箱	件数	927 件	921 件	852 件	792 件
		金額	1,050,735 円	1,113,774 円	5,896,936 円	831,298 円
	街頭募金等	件数	641 件	1,577 件	624 件	525 件
		金額	7,778,109 円	10,288,792 円	7,804,532 円	5,281,333 円

②青少年赤十字海外支援事業（1円玉募金） 再掲※

ネパールとバヌアツの衛生教育や防災教育などを中心に支援するため、青少年赤十字加盟園・校へ「1円玉募金」の実施を呼びかけました。

件数	金額
3件	38,522円

※P20.(4)「国際交流事業」の再掲

③その他の救援金

世界各国の赤十字社・赤新月社を通じて被災国の赤十字社に寄せられる「海外救援金」は、国際赤十字機関や被災国の赤十字社が行う被災者支援活動に役立てられます。

令和6年度も国際赤十字機関や被災国赤十字社からの依頼に基づいた救援金を募集しました。

救援金区分	件数	金額
2024年台湾東部沖地震救援金	150件	5,529,342円
中東人道危機救援金	9件	4,358円
バングラデシュ南部避難民救援金	13件	96,578円
アフガニスタン人道危機救援金	17件	98,078円
ウクライナ人道危機救援金	132件	540,826円
イスラエル・ガザ人道危機救援金	23件	18,720円
レバノン人道危機救援金	14件	11,254円
海外無指定救援金	1件	3,000円
合計	359件	6,302,156円

5

赤十字奉仕団による活動

赤十字奉仕団は、赤十字の使命とする人道的な諸活動を実践するため、地域や活動分野ごとに結成されたボランティア組織であり、その活動は、赤十字運動の普及に欠かせないものです。

令和6年度は奉仕団活動の活性化に向けて、奉仕団相互の連携強化を図るとともに、地域づくりに取り組む奉仕団への支援をしました。

また、活動の中心となるボランティアリーダーの育成や団員相互の情報共有・連絡調整のための会議、団員の知識・技術の向上を図る各種研修会等を開催しました。

【山口県の奉仕団結成状況】

(令和7年3月31日現在)

奉仕団の種類		団数	団員(登録者)数	特色
地域奉仕団		40 団	6,650 人	主として、市町の婦人会組織等。一定の地域ごとに結成され、赤十字の思想普及、活動資金募集、災害時の救護活動支援等、地域に密着した活動を行っている。
青年（学生）奉仕団		3 団	87 人	青年や学生で組織され、献血推進や社会福祉施設の訪問等の活動を行っている。
特殊奉仕団	安全奉仕団	1 団	148 人	救急法・水上安全法・幼児安全法の指導員で結成され、県民の健康と安全を守るための講習会の指導を行っている。
	アマチュア無線奉仕団	1 団	85 人	アマチュア無線免許保有者で結成され、非常災害時において通信網を確保し、正確かつ迅速な情報の収集と伝達を行うことを目的に活動している。
	青少年赤十字賛助奉仕団	1 団	36 人	青少年赤十字活動の普及や加盟促進を目的に活動しており、青少年赤十字の指導経験者や、目標に賛同された方で組織されている。
	災害救護奉仕団	2 団	88 人	災害時に赤十字が実施する救護活動に協力することや、平時に防災思想の普及を図ることを目的に組織されている。
合計		48 団	7,094 人	

(1) 会議・研修会等の開催

奉仕団の組織強化や活動の活性化のための会議や、奉仕団員が必要とする意識・知識・技術等を身につける研修会を実施し、団の中核となる人材を育成しました。

○全奉仕団

会議名	実施時期	会場	参加者数
赤十字奉仕団中央委員会	5月30日 ～31日	日本赤十字社 本社	1人
赤十字奉仕団中央委員会常任委員会	12月6日	日本赤十字社 本社	1人

○地域奉仕団

会議名	実施時期	会場	参加者数
山口県赤十字奉仕団委員長会議	6月19日	カリエンテ山口	55人
中国・四国ブロック赤十字奉仕団協議会	9月24日 ～25日	日本赤十字社 広島県支部	委員長1人 支部職員1人
研修名	実施時期	会場	参加者数
中国・四国ブロック赤十字奉仕団研修会	10月17日 ～18日	日本赤十字社 徳島県支部	1人
山口県赤十字奉仕団中堅団員研修会	10月28日	カリエンテ山口	45人
活動名	実施時期	実施団数(延べ)	参加者数
県下一斉ボランティア	5月～3月	26団	653人
炊き出し訓練・研修会	通年	8団	238人
地域包括ケア関連活動	通年	5団	170人
各団主催研修会	通年	4団	366人



中堅団員研修会

○青年（学生）奉仕団

会議名	実施時期	会場	参加者数
令和6年度青年赤十字奉仕団 全国協議会（第1回）	5月11日	WEB開催	1人
中国・四国ブロック青年赤十字 奉仕団連絡協議会	6月8日 ～9日	日本赤十字社 徳島県支部	委員長1人 支部職員1人
山口大学学生赤十字奉仕団年末 総会	12月20日	山口大学 共通31番教室	51人
山口大学学生赤十字奉仕団新年 総会	1月10日	山口大学 共通34番教室	46人
令和6年度青年赤十字奉仕団 全国協議会（第2回）	1月18日	WEB開催	1人
青年（学生）赤十字奉仕団総会	3月25日	日本赤十字社 山口県支部	58人
研修名	実施時期	会場	参加者数
山口県青年（学生）赤十字 奉仕団基礎研修会	7月6日	日本赤十字社 山口県支部	26人
中国・四国ブロック青年赤十字 奉仕団研修会	9月7日 ～8日	日本赤十字社 愛媛県支部	3人
広山交流会	10月5日 ～6日	徳地青少年 自然の家	29人
山口県青年（学生）赤十字奉仕団 中堅団員研修会	12月14日	日本赤十字社 山口県支部	46人
山口県青年（学生）赤十字奉仕団 リーダー研修会	3月15日	日本赤十字社 山口県支部	4人

○安全奉仕団

会議名	実施時期	会場	参加者
山口県赤十字安全奉仕団総会	5月18日	山口県総合 保健会館	71人
山口県赤十字安全奉仕団役員会	2月22日	日本赤十字社 山口県支部	9人
研修名	実施時期	会場	参加者
救急法指導員研修会	5月18日	山口県総合 保健会館	85人
救急法指導員地区研修会	7月6日	宇部総合福祉会館	8人
	9月15日	周南市徳山保健 センター	8人
健康生活支援講習指導員研修会	6月2日	日本赤十字社 山口県支部	13人

研修名	実施時期	会場	参加者
幼児安全法指導員研修会	6月2日	日本赤十字社 山口県支部	23人
水上安全法指導員研修会	9月18日 ～20日	山口きらら博 記念公園	14人



各講習会における安全奉仕団員の指導協力回数

講習区分	講習回数（団員協力／全講習数）	協力団員（実人数）
救急法	217回／300回	77人
水上安全法	15回／16回	15人
健康生活支援講習	1回／4回	2人
幼児安全法	9回／25回	6人

○アマチュア無線奉仕団

会議名	実施時期	会場	参加者数
山口県赤十字アマチュア無線奉仕団総会	4月14日	日本赤十字社 山口県支部	36人
山口県赤十字アマチュア無線奉仕団役員会	3月23日	日本赤十字社 山口県支部	13人
研修名及びクラブ局運用	実施時期	会場	参加者数
山口県赤十字アマチュア無線奉仕団 研修会・クラブ局運用	4月14日	日本赤十字社 山口県支部	36人
山口県赤十字アマチュア無線奉仕団 クラブ局運用	5月26日	下関岬之町にぎわい エリア	15人
各県支部との通信協力	通年	10県	19人



○青少年赤十字賛助奉仕団

会議名	実施時期	会場	参加者数
全国青少年赤十字賛助奉仕団協議会総会	7月11日 ～12日	日本赤十字社 本社	1人
山口県青少年赤十字賛助奉仕団総会	9月30日	日本赤十字社 山口県支部	8人
中国・四国ブロック青少年赤十字賛助奉仕団連絡協議会・研修会	10月24日 ～25日	日本赤十字社 鳥取県支部	3人
研修名	実施時期	会場	参加者数
山口県青少年赤十字賛助奉仕団研修会	9月30日	日本赤十字社 山口県支部	8人
活動名	実施時期	実施市町	参加者数
各市・町校長会等 JRC 加盟促進	通年	7市・町	7人

○災害救護奉仕団

会議名	実施時期	会場	参加者数
山口県赤十字防災奉仕団役員会・総会	4月27日	日本赤十字社 山口県支部	23人
研修名及び訓練名	実施時期	会場	参加者数
第1回山口県赤十字防災奉仕団研修会	4月27日	日本赤十字社 山口県支部	20人
山口県総合防災訓練	5月26日	下関市(岬之町にぎわいエリア、長府扇町第1運動場)	4人



防災講習等における防災奉仕団員の指導協力回数

講習回数（団員協力／全講習数）	協力団員（延べ人数）
55回／73回	122人

令和6年能登半島地震に対する奉仕団活動

活動内容	実施時期	実施奉仕団	参加者数
救護資材の整理	4月4日	山口県赤十字防災奉仕団	3人

※P3.(1)「令和6年能登半島地震災害の対応」の再掲

(2) ボランティアリーダーの育成

赤十字ボランティア活動の中心となるボランティアリーダーを育成し、活動の更なる充実・拡大を図りました。

○全奉仕団

会議名	実施時期	会場	参加者数
赤十字奉仕団支部指導講師研修会	1月25日 ～27日	日本赤十字社 本社	1人
赤十字ボランティアリーダー研修会(青年、特殊)	8月24日 ～26日	日本赤十字社 本社	2人
赤十字防災ボランティア・リーダー養成研修会	9月28日	WEB開催	1人

(3) 地域づくりに取り組む奉仕団に対する活動支援

地域における赤十字活動の推進者である地域奉仕団の活動の拡充に向け、コロナ禍の影響で停滞した炊き出し訓練の再開や、地域で展開されている地域包括ケアシステムへの貢献など、地域貢献活動に取り組む奉仕団に対する活動助成制度を創設し活動を支援しました。

助成金名称	活用例数
炊き出し訓練等に関する助成金(上限5万円/件)	8件
地域包括ケアに関する助成金(上限1万円/件)	5件

(4) 赤十字奉仕団相互の連携強化

①赤十字奉仕団山口県支部委員会の開催

地域奉仕団、青年(学生)奉仕団、専門技能を持つ特殊奉仕団の委員長で構成される奉仕団支部委員会を開催し、情報交換や相互の連携強化に向けて意見交換を行いました。

名称	実施時期	会場	参加者
赤十字奉仕団山口県支部委員会	5月22日	日本赤十字社山口県支部	7人



②赤十字奉仕団相互の連携

地域と密着した活動をしている地域奉仕団を中心に、青年（学生）奉仕団、専門技能を持つ特殊奉仕団が連携して赤十字事業を県内全域へ推進しました。

【奉仕団別の連携事業】

奉仕団名	地域奉仕団との連携事業	件数
青年（学生）奉仕団	献血推進活動	1件
災害救護奉仕団	県内での防災講習会指導・防災減災意識の向上	3件

③活動を通じた連携強化

支部主催の研修会等に複数の奉仕団を参画させることで、奉仕団相互の連携を促進しました。

名称	内容	関係団
災害救護活動研修会	被災者支援に関する知識と技術の習得	山口県青年赤十字奉仕団 10人 山口県赤十字防災奉仕団 15人
青少年赤十字 SDGs 防災学習プロジェクト	防災に関する知識と技術の普及	山口県青少年赤十字賛助奉仕団 2人 山口県赤十字防災奉仕団 4人



災害救護活動研修会

6 赤十字思想の普及

日本赤十字社では、赤十字の普遍的な使命である人道的任務を達成するため、多くの人びとの温かい思いを結集して赤十字運動を推進しています。

山口県支部では、県民の皆様へ、赤十字に共感し、支援いただけるよう、「赤十字運動月間」キャンペーンや広報活動、企業等とのタイアップによる社会貢献活動の普及等により赤十字思想の普及に取り組みました。

(1) 「赤十字運動月間」キャンペーン

5月1日の創立記念日、5月8日の「世界赤十字デー」にちなんで、毎年5月を『赤十字運動月間』として、全国各地で国民の皆さまに赤十字活動の報告や継続的な協力をお願いしています。

キャンペーン期間中は、地区・分区を通じた広報誌の配布、レッドライトアッププロジェクトの実施、テレビ・ラジオなどのマスメディアを活用したPRなど赤十字活動の広報に努めました。



① 「赤十字運動月間」における赤十字会員への加入の呼びかけ等

赤十字運動月間では、地区・分区や自治会長、奉仕団などにご協力いただき、赤十字会員募集のための資材等を地域の皆様へ配布し、赤十字会員への加入や活動資金への協力を呼びかけました。

【会員の推移（協力会員除く）】

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
個人会員	1,719人	1,892人	1,916人	1,918人
法人会員	1,470社	1,659社	1,621社	1,449社
会員合計	3,189人・社	3,551人・社	3,537人・社	3,367人・社

② マスメディアによるPR

赤十字運動月間を広く県民に周知し支援をお願いするため、テレビやラジオCM等による広報を実施しました。

【テレビ】15秒CM

- ◆民放テレビ：山口放送、テレビ山口、山口朝日放送

◆ケーブルテレビ

アイキャン（岩国・和木・周防大島）、周防ケーブルネット（柳井）、
Kビジョン（下松・光・平生・上関）、シティーケーブル周南（周南）、
山口ケーブルテレビ（山口・防府・美祢）、萩ケーブル（萩）、
ほっちやTV（長門）

【ラジオ】

FM 山口（Day Colors）

③空港館内広告

大型連休により多くの利用者が見込まれる県内空港2ヶ所において、デジタルサイネージ広告等を掲出しました。

④キックオフイベント

赤十字運動月間の開始をPRするため、青少年赤十字加盟園の協力のもと、5月1日にキックオフイベントを実施し、同園からPRポスターを贈呈いただきました。贈呈されたポスターは、期間中、県内の商業施設のほか、山口赤十字病院に掲示しました。



⑤レッドライトアッププロジェクト

5月の赤十字運動月間に各地の公共・民間施設を赤色に灯す運動を全国一斉に実施しました。

【県内のライトアップ実施施設】

協力先	場所	期間
山口県国際総合センター	海峡ゆめタワー	5月6日～8日

(2) 広報活動

① 広報資材の作成・配布

県内全域へ赤十字活動の理解と協力を呼び掛けるため、広報誌「Sekijuji Yamaguchi」を年 2 回発行し、県内全域に配布しました。昨年度に引き続き、表紙には人気イラストレーターを起用し、イメージの浸透を図りました。

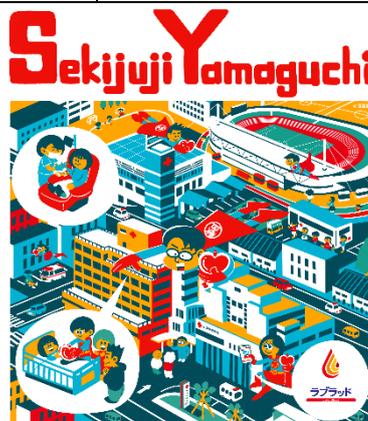
その結果、紙面内で実施のプレゼント企画では、応募数が前年の約 2 倍となる 2,445 件と読者層の拡大に繋がりました。

このほか、「JRC とびっく」や「奉仕団だより」も発行し、関係者および協力先へ配布しました。

広報資材人	発行時期	発行部数	配布・設置先
Sekijuji Yamaguchi 2024 秋号	令和 6 年 10 月	380,000 部	各地区分区（原則各戸配布）、 赤十字会員、講習受講者他
Sekijuji Yamaguchi 2025 春号	令和 7 年 3 月	350,000 部	各地区分区（原則各戸配布）、 赤十字会員、講習受講者他
JRC とびっく	令和 7 年 3 月	700 部	JRC 加盟校他
奉仕団だより	令和 7 年 3 月	300 部	奉仕団員、各地区分区



Sekijuji Yamaguchi2024 秋号



Sekijuji Yamaguchi2025 春号

② マスメディアを通じた情報発信

県内における赤十字活動を広く県民に知ってもらうため、プレスリリースを
発出してテレビ局や新聞社からの取材を促進し、報道へと繋げました。

【報道件数】

39 件（テレビ 26 件、新聞 13 件）

③ホームページ・SNSによる情報発信

主に若年層の支持者を増やすため、ホームページや SNS など写真や動画を活用した目に見える情報発信を行いました。

また、SNS では、新たに X (旧 : Twitter) のアカウントを開設しました。

(3) 企業・団体とのタイアップによる社会貢献活動の普及

①赤十字サポーター

赤十字と企業・団体のパートナーシップの確立を目的に、平成 25 年度から実施している赤十字サポーター制度について、令和 6 年度は新たに 2 法人を認定しました。

【令和 6 年度認定法人】

社人	所在地	認定日	支援協力内容
長陽衛生社	山陽小野田市	7 月 1 日	募金箱の設置
HACNAMATATA	宇部市	7 月 1 日	施設内での職域募金

②レノファ山口とのパートナーシップ協定に基づく取組の充実

平成 28 年 3 月に締結したパートナーシップ協定の内容に基づき、令和 6 年度は以下の相互協力を行いました。

【赤十字⇒レノファ】

実施項目	実施時期	備考 (会場・内容等)
ホームゲームでのボランティア救護員の派遣	2~10 月	山口維新百年記念公園陸上競技場 赤十字病院の看護師等 (延べ 10 人)
救急法講習会の実施	2 月 1 日	レノファ山口 FC のボランティア団体「TeamBONDS」への救急法講習実施
広報協力	適宜	保有施設でポスター等の掲示 広報誌読者へのプレゼント協力

【レノファ⇒赤十字】

実施項目	実施時期	備考
献血イベントの実施	5 月 6 日	受付人数 : 62 人、400ml 献血 54 人
	9 月 7 日	受付人数 : 86 人、400ml 献血 67 人
	3 月 2 日	受付人数 : 67 人、400ml 献血 61 人
広報協力	適宜	保有施設でポスター等の掲示

(4) 表彰

日本赤十字社の事業・活動に多大なご協力をいただいた個人・法人に対し、感謝の気持ちをお伝えするための表彰品をお渡ししました。

なお、銀色有功章以上の受章者を対象とした表彰式を令和7年2月6日に開催しました。



表彰区分		表彰基準		個人 (人)	法人 (社/団体)	合計 (人・社/団体)
活動資金	社長感謝状		金色有功章受章後 (累計) 50 万円以上	8	2	10
	有功章	金色	(累計) 50 万円以上	5	6	11
		銀色	(累計) 20 万円以上	5	15	20
	支部長感謝状		(累計) 10 万円以上	20	45	65
	小計			38	68	106
業務	有功章	金色	奉仕団員活動 20 年以上	1		1
		銀色	監査委員在職 6 年以上	1		1
	小計			2		2
献血者	有功章	金色	献血回数 100 回以上	73		73
		銀色	献血回数 70 回以上	132		132
	小計			205		205
合計				245	68	313

(5) 全国赤十字大会

5月15日、日本赤十字社名誉総裁皇后陛下及び名誉副総裁各妃殿下のご臨席のもと、「令和6年全国赤十字大会」が明治神宮会館（東京都）で開催されました。山口県支部からは、寄付者や奉仕団員など計23人が参会しました。

(6) 国際人道法の普及

国際人道法は、紛争犠牲者の保護と、戦闘方法・兵器の規制のための国際的なルールです。ウクライナ人道危機やイスラエル・ガザ人道危機では、国際人道法に違反する行為が行われ、多くの犠牲者が出ています。

私たち日本赤十字社は国際人道法の推進機関の一員として、国際人道法の普及にこれまで以上に関心を払う必要があります。

令和6年度は、JRC加盟校での支部主催行事や奉仕団員を対象とした研修会等を活用して、国際人道法の普及に努めました。

受講団体	実施時期	参加者数
梅光学院中学校	1月21日	58人
梅光学院高等学校	1月21日	107人
下関市赤十字奉仕団	8月26日	40人
山口県青年（学生）赤十字奉仕団基礎研修会	7月6日	3人
山口県青年（学生）赤十字奉仕団中堅団員研修会	12月14日	46人
合計	5回	254人

7 赤十字活動資金の確保

山口県支部の事業は、県民の皆様からお寄せいただく活動資金がよりどころです。近年、少子高齢化が加速し、地域社会が変容していく中、活動資金の確保は大変厳しい状況にあります。

このため、地区・分区や奉仕団等との連携による自治会・町内会を基盤とした募集を軸にしつつ、法人へのダイレクトメールや企業訪問等による法人会員の掘り起こしなど法人対策を強化し、活動資金の確保に努めました。

(1) 令和6年度の活動資金募集実績

少子高齢化や地域社会の変容などにより自治会等を基盤とした一般からの活動資金は減少しましたが、広報誌の配布先を拡大するなど、積極的に広報活動を展開することで、新規会員の獲得や高額寄付の確保に繋げ、6年連続で目標の2億円を超えることができました。

区分	令和6年度目標	令和6年度実績	令和5年度実績	前年対比
一般 (遺贈等除く)	175,000千円	179,307千円 (169,307千円)	178,965千円 (169,365千円)	100.2% (99.9%)
法人	25,000千円	21,528千円	35,543千円	60.6%
合計 (遺贈等除く)	200,000千円	200,835千円 (190,835千円)	214,508千円 (204,908千円)	93.6% (93.1%)

○活動資金収入実績の推移

(単位：千円)

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
一般		224,521 (192,521)	245,590 (192,779)	192,404 (180,404)	178,965	179,307
内訳	自治会	159,689	155,821	152,101	148,923	145,677
	大口寄付	32,000	52,811	12,000	0	0
	その他	32,832	36,958	28,303	30,042	33,630
法人		16,726	31,594 (21,594)	27,793	35,543 (25,543)	21,528
内訳	D M	10,279	14,801	19,908	17,067	16,095
	大口寄付	0	10,000	0	10,000	0
	その他	6,447	6,793	7,885	8,476	5,433
合計		241,247 (209,247)	277,184 (214,373)	220,197 (208,197)	214,508 (204,508)	200,835

※ 大口寄付は、1,000万円以上の寄付のみを集計

※ ()内は、大口寄付を除いた実績

(2) 一般対策

①地区分区との連携

令和6年度も赤十字運動月間での募集に先立って、地区・分区で開催される協賛委員会等に出席したほか、地区・分区担当職員や各自治会長様等の協力により、各地域で募集活動を推進しました。

【地区・分区の協賛委員会等】

行事人	開催時期
日本赤十字社山陽小野田市協賛委員会総会	令和6年4月15日
日本赤十字社防府市地区協賛委員会春季定例総会	令和6年4月22日
日本赤十字社下関市地区代表協賛委員・分区長合同会議	令和6年4月24日
日本赤十字社光市地区分区長会議	令和6年4月24日
日本赤十字社萩・阿武地区協力員集会	令和6年7月21日
日本赤十字社宇部市地区協賛委員会	令和7年2月12日

②広報誌を活用した募集

平成30年度から広報誌の秋号に振込用紙を付けて発行・配布しておりますが、2024秋号においても、多くの応諾をいただきました。

【応諾実績】

年度	件数	金額
令和5年度	350件	5,352,401円
令和6年度	361件	6,330,935円

(3) 法人対策

①ダイレクトメールによる募集

例年、年3回（5月・9月・2月）のダイレクトメール発送により、過去に協力いただいた法人に対して活動資金の募集を行っています。令和6年度は、次頁のと通りの応諾がありました。

また、9月、2月の発送にあわせて、本社導入システムにより抽出した法人リストを活用のうえ、過去に依頼実績のない4,753社に対して、新たにDMを発送しました。

【募集状況】

	発送数	応諾数	応諾率	協力金額
5月発送分	1,440件	758件	52.64%	12,099,046円
10月発送分	682件	121件	17.74%	1,801,555円
2月発送分	550件	42件	7.64%	727,000円
新規発送分	4,753件	65件	1.37%	1,235,000円
その他	—	12件	—	232,000円
合計	7,425件	998件	13.44%	16,094,601円

※ その他は、前年度発送分の繰り越し入金分を計上

【発送対象】

発送月	発送対象
5月	過去3年以内で1度でも納入のあった法人
9月	5月発送先の未応諾法人 及び 新規発送先
2月	5月発送先の未応諾法人 及び 新規発送先

②訪問による募集

表彰対象法人など約80社に対して、表彰品、受領書を直接お届けして感謝の意をお伝えするとともに、赤十字事業について説明し、今後のさらなる協力をお願いしました。

(4) 多様な活動資金納入方法の周知

日赤では、窓口払いや銀行振り込み以外にも、口座振替やクレジットカード払い、コンビニ払い、ネット銀行決済等、様々な協力方法を整えています。令和6年度も、広報誌やホームページ等で紹介し、活動資金への協力促進を図りました。

(5) 遺贈・相続による寄付の獲得

専門家に対して山口県支部が遺贈等の受付団体であることを周知するため、県内の税理士事務所および司法書士事務所へ広報誌を配布しました。

また、「遺贈・相続セミナー」を令和6年7月に防府市で開催しました。

医療機能の分化・連携や地域包括ケアシステムの構築など医療・介護の制度改革に適切に対応しつつ、県民ニーズに応じた医療提供体制の充実・強化に努めました。

（１）山口赤十字病院

①経営の改善

増収に向けた入院患者数の確保について、地域の医療機関との連携強化による紹介患者の増加や、効率的な病床管理や手術室の運用により、新規入院患者の積極的な確保に取り組んだ結果、目標には届かなかったものの、昨年度と比べて入院患者数は増加しました。

また、入院診療単価の増加に向けては、取得可能な施設基準について、本社の収益向上対策資料を活用し、加算等の算定率向上に努めた結果、昨年度と比べて入院診療単価が上昇しました。

費用の削減に向けては、競争入札や価格交渉を積極的に行うなど費用の適正化に努めました。

当院の経営環境は、令和４年度の新病棟竣工以降、年々厳しい状況となり、令和６年９月に本社から「グループ重点支援病院」に指定されました。

経営の着実な改善に向けて、当院が抱えている現状の問題点の解決に向けた経営改善計画書を策定し、本社へ提出しました。

②病院機能等の活用

新病棟建設事業により、個室の増室や HCU の増床による療養環境の改善に加え、放射線治療装置や CT 撮影装置などの高度医療機器の更新整備など、病院機能の充実・強化を図ってまいりました。

令和６年度は、これらの機能に加えて休日夜間の出入口を設置した他、HCU における重篤な患者さんの生体情報や測定データなどの一元的管理を行うため重症病床システムを導入し、より適切な診断、治療や業務効率の向上に寄与できるようになりました。

③医療安全の推進

実効性のある医療安全対策を推進するため、全職員対象に医療安全の基本や心理的安全をテーマとした研修会を開催しました。

また、医療安全カンファレンスの他、インシデントの発生原因や改善策を検討するための患者安全カンファレンスや、倫理的事例を検討するための臨床倫理コンサルテーションを開催しました。

山口県立総合医療センターや徳山中央病院と連携し、評価相互を行うとともに、令和6年度からは阿知須同仁病院が加わり、阿知須共立病院とともに医療安全対策の専門的知識や技術を共有し、レベルの向上に取り組みました。

④地域への貢献

地域医療支援病院として、地域の医療機関と患者さんの紹介、逆紹介を円滑に行うことができるよう、地域連携パスの運用や退院支援調整機能の強化を図るとともに、ホームページや広報誌による当院の情報発信を進め、地域の医療機関との連携強化に努めました。

地域の方々に対しては、様々な疾患や治療法、健康管理などについて分かりやすく紹介する市民公開講座「知っちょる会」を開催し、地域における関係づくりに努めました。

また、小児救急医療拠点病院として、入院が必要な小児をいつでも受け入れる体制を整えるとともに、山口・防府地域夜間こども急病センターとして夜間の小児救急の受け入れを行いました。

⑤グランドオープン

新病棟建設事業における全ての工事が完了し、令和6年4月にグランドオープンしました。同年5月に記念式典を開催し、行政機関、医師会や近隣医療機関など地域の皆様に披露するとともに、山口赤十字病院として新たな一步を踏み出しました。

(2) 小野田赤十字病院

①経営環境

小野田赤十字病院は、回復期病床を有する病院で、訪問診療や訪問看護を展開するとともに老人保健施設や介護医療院を運営するなど、山陽小野田市南部地域における地域包括ケアシステムの中核的な役割を担う施設として地域に貢献しています。

こうした中、人口減少・少子高齢化の進行等の影響により、本院の経営環境は非常に厳しい状況にあり、令和4年5月に日本赤十字社医療事業推進本部直轄の「本部管理病院」に指定されました。

指定以降は、経営改善に向けて、患者数の増加に向けた方策や経費削減対策などの収支改善策を積極的に推進しながら、今後の病棟運用の方向性について、本社と連携して協議を重ね、令和6年11月20日に開催された医療事業推進本部の赤十字医療施設経営会議において、令和7年度以降の当院の病床運営にかかるロードマップが承認されました。

【病床運営にかかるロードマップ概要】

- 1) 令和7年度を目途に老人保健施設を介護医療院へ転換し、介護医療院を96床へ増床する。
- 2) 令和7年度中に療養病棟を閉鎖し、一部を地域包括ケア病床へ転換し、令和8年度を目途に地域包括ケア病床を46床へ増床する。
- 3) 訪問診療収益を拡大するため、件数増加に向けた取り組みを継続する。

②病院・施設機能の再編

「病床運営にかかるロードマップ」に沿って、以下の取組を実施しました。

ア 老人保健施設から介護医療院への転換

令和7年度の転換に向けて、県および山陽小野田市・宇部市・美祢市の関係部署と調整を行い、令和7年3月に県から転換について内諾を得ることができました。

今後、必要備品等の整備や施設基準の確認を行い、7月を目途に介護医療院へ転換する計画としています。

イ 療養病棟の閉鎖

計画では令和7年度に閉鎖予定でしたが、想定を上回る看護職員の離職により、病棟の人員配置基準の維持が困難となったため、当初の計画を前倒しして、令和7年3月末をもって療養病棟を閉鎖しました。

ウ 訪問診療の拡大

令和6年10月の訪問診療開始以降、周辺施設からの紹介を中心に、収益は着実に増加していますが、更なる患者数の増加に向けて、様々な取り組みを行っています。

【訪問診療実績（R6.10～R7.3）】

項目	実績
訪問診療収益	9,542,460 円
延べ診療件数	169 件
平均診療単価	88 人

③経営の改善

ア 医業収益増強の取り組み

令和6年度は、前年度から行っているベッドコントロール強化の取り組みを継続し、高い病床利用率の実現に向けて、地域の医療機関と連携し、紹介患者の増加等に取り組みました。

また、診療報酬改定により新設された「生活習慣病療養管理料」等の新たな加算を算定することで、診療単価の増加に努めました。

【令和6年度目標値に対する実績値】

項目	目標値	実績値	達成率
入院患者延数 ※1	32,664 人	25,606 人	78.4%
(1日平均)	89.5 人	70.2 人	78.4%
病床利用率 ※2	97.2%	82.1%	84.5%
入院診療単価	25,642 円	26,311 円	102.6%
外来患者延数	9,364 人	8,610 人	91.9%
(1日平均)	38.7 人	35.4 人	91.5%
外来診療単価	9,908 円	9,604 円	96.9%

※1：療養病棟閉鎖の前倒しの影響によって大幅に減少

※2：1月から療養病棟の閉鎖に向けて患者数を減少させたため悪化
(地域包括ケア病棟の病床利用率は97.6%)

【病床数・患者数・診療単価の推移】

項目	令和2	令和3	令和4	令和5	令和6
病床数 (単位：床)	120	120	※1 120	92	※2 92
入院患者数 (単位：人)	33,963	30,788	27,575	30,276	25,606
入院診療単価 (単位：円)	22,025	21,246	22,888	25,589	26,311
外来患者数 (単位：人)	10,325	9,517	9,240	9,240	8,610
外来診療単価 (単位：円)	7,765	8,253	7,987	7,751	9,604

※1：11月に92床へ減床

※2：12月に72床へ減床し、3月末の療養病棟閉鎖に向けて患者数を減少させながら運用

イ 医業費用削減の取り組み

経費削減に向けては、退職者不補充の方針の下、職員の適正配置を通じて組織のスリム化を図るなど給与費の削減に取り組むとともに、光熱費削減に向けて館内照明のLED化を行うなど、コスト意識を持って取り組みました。

④医療安全の推進

医療安全推進週間（11月24日～11月30日）には、外来の方・院内の方に向けて、新型コロナウイルス・インフルエンザの予防のための手洗い推進のポスター、医療安全推進週間のポスターを掲示しました。また、各部署で取り組んだ5S活動の内容を医療安全管理対策委員会が報告を受け、その実施状況を確認するための院内ラウンドを行いました。

医療安全研修としては、サブリスクマネージャー指導のもとKYT（危険予知トレーニング）を各部署で実施するとともに、全職員に向けて、誤認防止・指示や伝達間違いを防ぐことを目的とした、「ポジティブコミュニケーション」の研修を実施しました。また、転倒転落予防対策チームの活動を継続しました。

⑤地域への貢献

一次救急当番医制度に可能な限り対応するとともに、二次救急病院群輪番制を支援するサポート病院の役割を果たすなど、地域の救急医療の維持に貢献しました。

地域の行事に対して、けがや傷病者救護のために看護師等の派遣をしており、令和6年度は10人の看護師を派遣しました。

地域住民に対して、当院の情報をより分かりやすく、より早く伝えていくため、ホームページや広報誌による情報発信を行いました。

(3) 本年度の診療状況

区分		山口赤十字病院	小野田赤十字病院
病床数		344床	92床(72床)
外来患者数	延べ数	167,749人	8,610人
	一日平均	693.2人	35.4人
入院患者数	延べ数	95,568人	25,606人
	一日平均	261.8人	70.2人

9 看護師の養成

将来、山口赤十字病院で就業する意思がある看護師等の資格取得を目指す学生の就学支援を目的に、奨学金貸与制度を運用しています。

【令和6年度実績】

新規貸付決定者数	1人(日本赤十字九州国際看護大学)
新規貸付金額	600,000円(60万円×1人)
年度末貸付残高	9,775,000円(貸付者数9人:学生1人、当院看護師8人)

【制度概要】

(対象) 山口赤十字病院で就業する意思のある看護学生
(貸付) 金額: 60万円/年(5万円/月×12)、期間: 最長3年
(償還) 償還期間: 貸与期間の2倍の期間以内

10 血液事業

令和6年度も、県、市町や関係団体等との連携を強化し、各種キャンペーンの実施、小学生対象の「けんけつキッズスクール」や高校生献血セミナーを開催するなど、献血者確保や将来に向けた若年層への献血思想の普及啓発を行いました。

その結果、延べ47,565人から献血のご協力をいただき、県内の124医療機関に輸血用血液製剤55,824本を、不足することなくお届けすることができました。

(1) 献血状況

① 献血者数

中四国ブロック血液センターからの中国・四国9県の需要に応じた採血指示に基づいた献血者確保を行いました。

(単位：人)

区分		令和6年度			前年度比	前年度増減
		事業計画数	献血者数	事業計画比		
全血献血	400mL	38,733	38,402	99.1%	96.9%	▲1,222
	200mL	285	232	81.4%	76.3%	▲72
成分献血	血小板	3,425 (58,410)	2,820 (52,150)	82.3% (89.3%)	88.1% (88.6%)	▲381 (▲6,740)
	血漿	5,839	6,111	104.7%	105.3%	+306
合計		48,282	47,565	98.5%	97.2%	▲1,369

※「血小板成分献血」の()内の数値は「血小板採血量」であり、事業計画数、献血者数及び前年度差の数値の単位は「200mL換算単位」である。

- 1) 献血者数は、全血献血と成分献血を併せて47,565人で、事業計画比98.5%、前年度比97.2%、前年度より1,369人減少した。
- 2) 全血献血のうち、400mL献血は38,402人で、事業計画比99.1%、前年度比96.9%、前年度より1,222人減少した。
- 3) 成分献血のうち、血小板成分献血は2,820人で、事業計画比82.3%、前年度比88.1%、前年度より381人減少した。
- 4) 血漿成分献血は6,111人で、事業計画比104.7%、前年度比105.3%、前年度より306人増加した。

②受入施設別献血者数

(ア) やまぐち献血ルーム「For you」(稼働日数：312日) (単位：人)

区分		令和6年度			前年度比	前年度増減
		事業計画数	献血者数	事業計画比		
全血献血	400mL	4,841	4,830	99.8%	100.1%	+6
	200mL	80	113	141.3%	68.5%	▲52
成分献血	血小板	3,425 (58,410)	2,820 (52,150)	82.3% (89.3%)	88.1% (88.6%)	▲381 (▲6,740)
	血漿	5,839	6,111	104.7%	105.3%	+306
合計		14,185	13,874	97.8%	99.1%	▲121
1日当り献血者数		45.5	44.5			▲0.4

(イ) 移動採血車(稼働台数：延べ682台) (単位：人)

区分		令和6年度			前年度比	前年度増減
		事業計画数	献血者数	事業計画比		
全血献血	400mL	33,892	33,572	99.1%	96.5%	▲1,228
	200mL	205	119	58.0%	85.6%	▲20
合計		34,097	33,691	98.8%	96.4%	▲1,248
1稼働当り献血者数		52.0	49.4			▲0.7

1)やまぐち献血ルームにおける献血者数は、13,874人で、事業計画比97.8%、前年度比99.1%、前年度より121人減少した。1日当りの献血者数は、44.5人であり、前年度に比べ0.4人減少した。

2)移動採血車は、延べ682台稼働し、献血者数は33,691人で、事業計画比98.8%、前年度比96.4%、前年度より1,248人減少した。1稼働当りの献血者数は、49.4人で昨年度に比べ0.7人減少した。

③若年層献血者状況

昨年度に引き続き、若年層に対する啓発活動に取り組みました。

10代～30代献血者数 (単位：人)

区分	献血者数		前年度比	前年度増減
	令和6年度	令和5年度		
16～19歳	1,471	1,744	84.3%	▲273
20～29歳	5,108	5,502	92.8%	▲394
30～39歳	6,176	6,658	92.8%	▲482
合計	12,755	13,904	91.7%	▲1,149

1) 10代から30代の若年層の献血者は、12,755人で、前年度比91.7%、前年度より1,149人減少した。

2)前年度比はそれぞれ、10代84.3%、20代92.8%、30代92.8%であった。

(2) 輸血用血液製剤の供給状況

県内の需要に応じて、不足なく輸血用血液製剤を供給しました。

(単位：本)

区分	供給本数		前年度比	前年度増減
	令和6年度	令和5年度		
全血製剤	0	0	-	0
赤血球製剤	39,089	39,935	97.9%	▲846
血漿製剤	9,400	9,275	101.3%	+125
血小板製剤	7,335	7,166	102.4%	+169
合計	55,824	56,376	99.0%	▲552
供給医療機関数	124	128		

1)令和6年度は124の医療機関に、55,824本の血液製剤を供給し、製剤別の前年度比は赤血球製剤97.9%、血漿製剤101.3%、血小板製剤102.4%であり、全製剤合計で99.0%であった。

(3) 献血者確保対策

①キャンペーンの開催

(ア) 「愛の血液助け合い運動」キャンペーンの開催 (7~8月)

- ・県内 13 市で地域に密着したキャンペーン 献血者 1,814 人

(イ) 「はたちの献血」キャンペーンの開催 (1~2月)

- ・県内 8 会場で若年層への啓発キャンペーン 献血者 480 人

(ウ) 山口県学生献血推進協議会によるキャンペーンの開催

- ・「七夕献血キャンペーン」(R6.7.7 下松市) 献血者 60 人
- ・「中国四国学生統一献血キャンペーン」(R6.9.22 防府市) 献血者 72 人
- ・「全国学生クリスマス献血キャンペーン」(R6.12.22 防府市) 献血者 64 人
- ・「春のお花見学生献血キャンペーン」(R7.3.30 防府市) 献血者 69 人

②若年層に対する献血思想及び献血体験の普及

(ア) 高校及び大学、専門学校における献血の実施

区分	実施年度	実施校数 (延べ回数)	献血者数
高等学校	令和 4 年度	13 校 (14 回)	354 人
	令和 5 年度	13 校 (15 回)	356 人
	令和 6 年度	13 校 (16 回)	332 人
大学 専門学校	令和 4 年度	13 校 (34 回)	1,599 人
	令和 5 年度	13 校 (34 回)	1,587 人
	令和 6 年度	13 校 (38 回)	1,503 人

(イ) 「献血セミナー」及び「献血出前講座」の実施

- ・献血セミナー : 高校 23 校で実施
- ・献血出前講座 : 中学校 1 校で実施

(ウ) 「けんけつキッズスクール~小学生親子体験教室」の実施

- ・開催日 令和 6 年 7 月 31 日 (水)
- ・参加者 105 人 (小学生 44 人、同伴者 61 人)

(エ) SNS の運用による献血情報の発信

SNS		登録者数・フォロワー数
LINE		913 人
Facebook		565 人
Instagram		950 人
学生献血推進協議会	X	412 人
	Instagram	352 人

③献血 WEB 会員サービス「ラブラッド」会員登録の推進

- ・会員数 (R7.3 月末) : 36,766 人 (令和 6 年度新規登録 6,320 人)

＜参考＞収支状況（暫定値）

① 収入

当センターの収入合計は、1,487,984 千円（前年度比 100.2%、2,430 千円増）
（単位：千円）

		令和 6 年度 決 算 額	令和 5 年度 決 算 額	前年度比	前年度増減
山口 センター	輸血用血液製剤 供 給 収 益	1,486,954	1,485,307	100.1%	+1,647
	その他事業収益	170	140	121.4%	+30
	事業外収益	860	107	803.7%	+753
	計	1,487,984	1,485,554	100.2%	+2,430
中四国 ブロック 全体	輸血用血液製剤 供 給 収 益	12,665,761	12,888,453	98.3%	▲222,692
	その他事業収益	9,956	6,160	161.6%	+3,796
	事業外収益	180,789	198,510	91.1%	▲17,721
	特 別 利 益	388	200	194.0%	+188
	計	12,856,894	13,093,323	98.2%	▲236,429

② 費用

当センターの費用は、1,061,816 千円（前年度比 98.0%、21,274 千円減）
（単位：千円）

		令和 6 年度 決 算 額	令和 5 年度 決 算 額	前年度比	前年度増減
山口 センター	人 件 費	600,865	611,538	98.3%	▲10,673
	材 料 費	234,184	236,493	99.0%	▲2,309
	経 費	226,767	235,059	96.5%	▲8,292
	事業外費用	0	0	-	0
	計	1,061,816	1,083,090	98.0%	▲21,274
中四国 ブロック 全体	人 件 費	5,000,606	5,475,169	91.3%	▲474,563
	材 料 費	3,492,613	3,528,148	99.0%	▲35,535
	経 費	3,343,945	3,449,621	96.9%	▲105,676
	棚卸調整額	44,386	133,604	33.2%	▲89,218
	過年度施設整備関連	62,808	0	-	-
	事業外費用	6,084	6,395	95.1%	▲311
	関連事業費用	6,488	7,183	90.3%	▲695
	特別損失	11,029	23,036	47.9%	▲12,007
	計	11,967,959	12,623,156	94.8%	▲655,197

11 評議員会及び監査

(1) 評議員会

令和5年度決算等、令和7年度予算等を審議するため、評議員会を開催しました。

いずれの議案も原案どおり承認されました。

①第1回評議員会 [令和6年6月6日(木) 於：かめ福オンライン]

議案第一号 令和5年度日本赤十字社山口県支部事業報告及び一般会計歳入歳出決算について

議案第二号 令和5年度医療施設事業報告及び医療施設特別会計歳入歳出決算について

議案第三号 令和5年度山口県赤十字血液センター事業報告について

議案第四号 監査委員の選出について

報告事項 令和6年能登半島地震災害に対する日本赤十字社の活動報告

②第2回評議員会 [令和7年2月6日(木) 於：かめ福オンライン]

議案第一号 令和7年度日本赤十字社山口県支部事業計画及び一般会計歳入歳出予算について

議案第二号 令和7年度医療施設事業計画及び医療施設特別会計歳入歳出予算について

議案第三号 令和7年度山口県赤十字血液センター事業計画について

議案第四号 代議員の選出について

議案第五号 副支部長の選出について

議案第六号 監査委員の選出について

報告事項 2025年大阪・関西万博への赤十字の出展について

(2) 監査

①監査委員監査

監査委員による令和5年度の支部一般会計及び医療施設特別会計の歳入歳出決算監査について、令和6年5月22日に、対面形式により監査を実施しました。

監査の結果、県民からの赤十字に対する期待に応えていること、歳入歳出決算報告書のすべての重要な点において、適正に表示しているものと認められました。

決算資料・資料編

令和6年度一般会計歳入歳出決算説明資料

日本赤十字社山口県支部

《歳入》

(単位:円)

科目	令和6年度	令和5年度	前年度対比	内 訳
活動資金収入	200,835,023	216,362,948	92.8%	1.一般社資収入 179,306,697 2.法人社資収入 21,528,326
委託金等収入	6,204,249	0	-	委託金等収入 6,204,249
補助金及び交付金収入	4,405,829	3,820,941	115.3%	本社交付金収入 4,405,829
災害義援金預り金収入	0	87,567,828	-	災害義援金預り金収入 0
繰入金収入	0	1,855,000	-	国際救護活動資金繰入金収入 0
資産収入	0	112,880	-	物品売却収入 0
雑収入	4,484,955	4,079,529	109.9%	1.負担金収入 1,675,859 2.雑収入 2,809,096
前年度繰越金	43,390,416	50,991,763	85.1%	前年度繰越金 43,390,416
歳入合計	259,320,472	364,790,889	71.1%	

《歳出》

科目	令和6年度	令和5年度	前年度対比	内 訳
災害救護事業費	29,388,306	116,150,701	25.3%	1.災害救護指導事業費 22,037,415 2.災害救護装備費 6,734,257 3.非常災害救援物資整備費 616,634
社会活動費	38,608,488	34,646,463	111.4%	1.救急法等普及費 11,866,666 2.奉仕団活動費 8,954,193 3.青少年赤十字活動費 13,000,706 4.社会福祉活動費 4,786,923
国際活動費	893,902	2,766,201	32.3%	国際救援活動費 893,902
指定事業地方振興費	0	1,855,000	-	指定事業地方振興費 0
地区区分交付金支出	33,492,277	34,021,867	98.4%	事務費交付金 17,605,674 事業費交付金 15,886,603
社業振興費	34,185,947	39,984,526	85.5%	1.社業振興費 18,414,361 2.広報活動費 15,771,586
基盤整備交付金・補助金支出	628,000	170,000	369.4%	医療施設基盤整備交付金 578,000 血液事業基盤整備交付金 50,000
積立金支出	20,840,706	25,813,706	80.7%	1.災害等資金積立金 15,000,000 2.退職給与資金特別会計積立金 5,840,706
総務管理費	34,271,527	33,175,315	103.3%	1.評議員会等諸費 502,052 2.総務費 7,413,531 3.業務費 4,036,286 4.保険料等負担金 12,753,558 5.管理費 8,963,500 6.監査費 602,600
資産取得及び資産管理費	2,815,287	940,502	299.3%	1.修繕費 34,903 2.損害保険料 587,555 3.設備費 1,825,120 4.管理諸費 367,709
本社送納金支出	29,825,253	31,876,192	93.6%	本社送納金 29,825,253
歳出合計	224,949,693	321,400,473	70.0%	
歳入歳出差引額	34,370,779	43,390,416		

資金の残高

(単位:円)

	令和6年度	令和5年度	増減	目的
災害等資金	443,994,925	428,739,529	15,255,396	災害等における被災者の救護ならびにその他緊急の経費に充当する ※積立の目安は活動資金収入の2か年分
国際救護活動資金	0	0	0	海外の災害・紛争等による罹災者救護ならびに発展途上国赤十字社の 救助保健衛生指導等の活動を円滑に実施する
施設整備準備資金	756,799,724	755,646,408	1,153,316	支部庁舎等の建て替えや改修、その他必要な施設整備の経費に充当する
合計	1,200,794,649	1,184,385,937	16,408,712	

令和6年度 医療施設特別会計歳入歳出決算説明資料

収益的収入及び支出

山口赤十字病院

《 収 入 》

(単位:円)

科 目	令和6年度	令和5年度	前年度対比 (%)	令和6年度内訳
医療収益				
入院診療収益	6,459,333,563	6,254,017,292	103.3	入院患者延数 95,568 人
室料差額収益	143,258,880	135,318,212	105.9	1日平均 261.8 人
外来診療収益	2,999,903,043	3,023,547,683	99.2	病床利用率 76.0 %
保健予防活動収益	272,230,433	243,227,909	111.9	外来患者延数 167,749 人
その他医療収益	53,900,337	54,567,668	98.8	1日平均 693.2 人
保険等査定減	△ 22,221,298	△ 18,382,418	120.9	
医療収益計	9,906,404,958	9,692,296,346	102.2	
医療外収益	301,873,202	494,263,383	61.1	1. 受取利息 823,933 2. 本部繰入金 0 3. 他会計繰入金 2,903,782 4. 運営費補助金等収益 141,364,648 5. 施設設備補助金等収益 83,810,812 6. 患者外給食収益 4,528,250 7. その他の医療外収益 68,441,777
医療社会事業収益	0	123,000		医療社会運営費補助金等収益 123,000
付帯事業収益	51,307,676	47,322,340	108.4	施設収益 51,307,676
特別利益	394,318	24,774,200		1. 固定資産売却益 349,998 2. その他の特別利益 44,320
収益的収入合計	10,259,980,154	10,258,779,269	100.0	

《 支 出 》

(単位:円)

科 目	令和6年度	令和5年度	前年度対比 (%)	令和6年度内訳
医療費用				
材料費	2,707,363,375	2,726,596,082	99.3	年度末職員数(換算人数)
給与費	4,513,767,947	5,772,032,512	78.2	医師 87.6 人
委託費	814,820,546	822,659,253	99.0	看護師 378.7 人
設備関係費	1,132,125,232	1,335,085,549	84.8	その他 283.1 人
減価償却費(再掲)	836,135,966	1,070,757,090	78.1	合計 749.4 人
研究研修費	25,858,445	24,171,577	107.0	
経費	582,098,648	496,923,797	117.1	
医療費用計	9,776,034,193	11,177,468,770	87.5	
医療外費用	72,689,980	38,738,394	187.6	1. 支払利息 55,416,184 2. 患者外給食用材料費 5,345,897 3. 診療費減免額 429,450 4. 本部繰出金 8,777,936 5. 他会計繰出金 1,668,976 6. その他の医療外費用 1,051,537
医療奉仕費用	137,110,595	147,177,677	93.2	1. 医療社会事業費 67,057,651 2. 社会活動費 70,052,944
付帯事業費用	46,110,592	53,328,852	86.5	施設費 53,328,852
特別損失	1,042,876	403,965,502		1. 固定資産除却損 1,042,876 2. その他の特別損失 0
法人税等	0	0		1. 法人税、住民税及び事業税負担額 0
収益的支出合計	10,032,988,236	11,820,679,195	84.9	
収入支出差引額	226,991,918	△ 1,561,899,926		

資本的収入及び支出

山口赤十字病院

《 収 入 》

(単位:円)

科 目	令和6年度	令和5年度	前年度対比(%)	令和6年度内訳
固定負債	3,297,546,000	808,895,200		1. 借入金 3,282,000,000 2. リース未払金 0 3. 長期前受補助金等 15,546,000
その他資本収入	441,547,284	487,743,124	90.5	1. その他資本収入 441,547,284
資本的収入合計	3,739,093,284	1,296,638,324	288.4	

《 支 出 》

(単位:円)

科 目	令和6年度	令和5年度	前年度対比(%)	令和6年度内訳
固定資産	159,749,952	1,001,758,613	15.9	1. 有形固定資産 143,708,652 (1) 建物 6,399,800 (2) 建物付属設備 25,968,700 (3) 医療用器械備品 74,804,752 (4) その他器械備品 34,805,100 (5) 車両 1,730,300 2. 無形固定資産 16,041,300
借入金等償還	3,579,343,332	294,879,711		1. 借入金等償還 3,494,232,000 2. リース未払金支払 85,111,332
資本的支出合計	3,739,093,284	1,296,638,324	288.4	

収入支出差引額 0

令和6年度 医療施設特別会計歳入歳出決算説明資料

収益的収入及び支出
収入

小野田赤十字病院
(単位:円)

科 目	令和6年度	令和5年度	前年対比%	令 和 6 年 度 内 訳
医 業 収 益				
入院診療収益	673,728,364	774,744,672	87.0	入院患者延数 25,606人
室料差額収益	12,127,420	11,327,890	107.1	1日平均 70.2人
外来診療収益	82,693,045	69,490,289	119.0	病床利用率 (全体) 82.1%
保健予防活動収益	66,221,960	69,006,234	96.0	(一般[地域包括]) 97.6%
受託検査・施設利用収益	1,474,610	1,869,010	78.9	(療養) 68.5%
その他の医業収益	3,988,418	7,169,786	55.6	外来患者延数 8,610人
保健査定減	△ 1,277,860	△ 826,803	154.6	1日平均 34.7人
計	838,955,957	932,781,078	89.9	
医 業 外 収 益	72,380,655	55,171,491	131.2	1. 受取利息 208,415
				2. 本部繰入金 200,000
				3. 他会計繰入金 131,038
				4. 運営費補助金等収益 48,012,135
				5. 施設設備補助金等収益 15,457,645
				6. 患者外給食収益 0
				7. その他の医業外収益 8,371,422
医療社会事業収益	1,697,580	5,902,499	28.8	医療社会事業収益 1,697,580
付帯事業収益	537,026,734	565,235,844	95.0	施設収益 (老人保健施設・訪問看護S介護医療院) 537,026,734
特別利益	167,622	39,077	429.0	1. 固定資産売却益 40,000
				2. その他の特別利益 127,622
収入合計	1,450,228,548	1,559,129,989	93.0	

支出

(単位:円)

科 目	令和6年度	令和5年度	前年対比%	令 和 6 年 度 内 訳
医 業 費 用				年度末職員数
材料費	110,155,298	107,617,508	102.4	(病院) 医師 5.8人
給与費	449,027,953	773,233,455	58.1	看護師 37.0人
委託費	53,956,550	61,011,999	88.4	その他 53.4人
設備関係費	105,651,558	119,566,962	88.4	計 96.2人
減価償却費(再掲)	66,515,235	81,463,827	81.7	(老人保健施設) 26.9人
研究研修費	2,307,912	2,190,375	105.4	(在宅介護支援センター) 0.0人
経費	80,238,756	80,879,479	99.2	(訪問看護ステーション) 4.0人
計	801,338,027	1,144,499,778	70.0	(介護医療院) 30.5人
医 業 外 費 用	17,865,956	17,063,175	104.7	1. 支払利息 3,791,769
				2. 患者外給食用材料費 1,216,507
				3. 診療費減免額 77,800
				4. 本部繰出金 845,051
				5. 他会計繰出金 44,268
				6. 退職給付債務変更時差異 0
				7. その他の医業外費用 11,890,561
医療奉仕費用	2,860,402	8,623,290	33.2	1. 医療社会事業費 0
				2. 社会活動費 2,860,402
付帯事業費用	462,524,978	540,991,448	85.5	施設費 (老人保健施設・訪問看護S介護医療院) 462,524,978
特別損失	72,205	268,038	26.9	1. 固定資産除却損 72,205
				2. その他の特別損失 0
法人税等	351,812	0	0.0	1. 法人税、事業税及び事業税負担額 351,812
支出合計	1,285,013,380	1,711,445,729	75.1	
収支差引額	165,215,168	△ 152,315,740	△ 108.5	

資本的収入及び支出

小野田赤十字病院

収 入

(単位:円)

科 目	令和6年度	令和5年度	前年対比%	令 和 6 年 度 内 訳
固 定 負 債	0	0	0.0	1. 借入金 0 2. 長期前受補助金等 0
そ の 他 資 本 収 入	114,702,186	126,936,320	90.4	1. その他資本収入 114,702,186 (自己資金)
計	114,702,186	126,936,320	90.4	

支 出

科 目	令和6年度	令和5年度	前年対比%	令 和 6 年 度 内 訳
固 定 資 産	31,371,186	43,605,320	71.9	1. 有形固定資産 31,371,186 (1) 建物 0 (2) 建物附属設備 19,723,066 (3) 医療器械備品 7,566,900 (4) その他器械備品 4,081,220 (5) 車両 0 2. 無形固定資産 0 (1) ソフトウェア 0
借 入 金 等 償 還	83,331,000	83,331,000	100.0	1. 借入金等償還 83,331,000
計	114,702,186	126,936,320	90.4	

収入支出差引額

0

日本赤十字社山口県支部現勢（令和6年度）

・ 赤十字基本原則 人道・公平・中立・独立・奉仕・単一・世界性

（令和7年3月末現在）

<p>・ 役員</p> <p>支部長 村岡 嗣政 副支部長 平屋 隆之 副支部長 前田 晋太郎 監査委員 中野 恵 監査委員 堀川 順生 本社理事 藤家 幸子 本社代議員 石田 和雄 嬉 静恵 徳田 文範 藤本 浩志</p> <p>評議員 30人</p> <p>・ 会員</p> <p>個人 1,918人 法人 1,449法人</p> <p>・ 赤十字奉仕団</p> <p>団数 48団 団員数 7,094人</p> <p>・ 青少年赤十字</p> <p>加盟校（園）数 20園183校 メンバー数 32,441人</p> <p>・ 救護・救援</p> <p>常備救護班 8班 救護要員総数 160人 救急車 3台 通信指令車 1台 災害救援車 7台 無線基地局 3局 無線移動局 47局 NBC除染セット 1セット テント（パイプ組立式） 8張 エアーテント 3張 救援用毛布 5,015枚 緊急セット 1,578個 安眠セット 567個</p> <p>・ 養成</p> <p>救急法指導員 171人 水上安全法指導員 26人 幼児安全法指導員 68人 健康生活支援講習指導員 35人</p>	<p>・ 国際活動資金援助</p> <p>アジア・大洋州給水支援事業 87.3万円</p> <p>・ 医療</p> <p>病院 2施設 病床数 416床 患者延数 外来 176,359人 （1日平均） 728.6人 入院 121,174人 （1日平均） 332人</p> <p>・ 老人保健施設</p> <p>小野田赤十字老人保健施設 入所定員 40人 小野田赤十字介護医療院 入所定員 60人</p> <p>・ 血液</p> <p>血液センター 1施設 出張所 2施設 移動採血車 4台 血液運搬車 18台 献血者数 47,565人 成分献血 8,931人 400ml献血 38,402人 200ml献血 232人 供給数 血液製剤 55,824本</p> <p>・ 職員（正職員）</p> <p>支部 10人 山口赤十字病院 632人 小野田赤十字病院 62人 老人保健施設 18人 介護医療院 25人 血液センター 57人 計 804人</p> <p>・ 山口県日赤紺綬有功会</p> <p>会員数 51人・社</p>
---	--

日本赤十字社山口県支部役員

役職名	氏名	備考
支部長	村岡 嗣政	山口県知事
副支部長	平屋 隆之	山口県副知事
副支部長	前田 晋太郎	山口県市長会会長
支部参与	大川 真一	山口県総務部長
支部参与	石丸 泰隆	山口県健康福祉部長
支部参与	根ヶ山 耕平	山口県副教育長
監査委員	堀川 順生	
本社理事	徳田 文範	本社代議員
本社代議員	石田 和雄	
	嬉 静恵	
	藤本 浩志	

日本赤十字社山口県支部評議員

氏名	選出区分	氏名	選出区分
川久保 賢隆	支部長	藤谷 允子	岩国市地区
中 繁 尊 範	支部長	白井 啓二	岩国市地区
内 田 芳 明	支部長	梅本 貞則	光市地区
田中 マキ子	支部長	竹林 敏子	長門市地区
藤本 浩志	支部長	嬉 静恵	柳井市地区
太田 英弘	下関市地区	山田 悦子	美祢市地区
西山 秀秋	下関市地区	石田 睦子	周南市地区
中野 リエ子	宇部市地区	有國 美恵子	周南市地区
徳田 文範	宇部市地区	岡本 志俊	山陽小野田市地区
徳永 雅典	山口市地区	藤本 浄孝	東部地区周防大島町分区
松浦 富子	山口市地区	松村 亮	東部地区和木町分区
小林 正史	萩・阿武地区(萩市)	松藤 泰三	東部地区上関町分区
石田 和雄	防府市地区	中原 和枝	東部地区田布施町分区
山村 美津江	防府市地区	山田 博子	東部地区平生町分区
白木 正博	下松市地区	花田 憲彦	萩・阿武地区(阿武町)

地区・分区担当窓口一覧

令和7年4月1日現在

地区・分区	担当部課	〒	住 所	電話番号	FAX番号
下関市	総務部 防災危機管理課	750-8521	下関市南部町 1-1	083-231-9333	083-231-9966
菊川	地域政策課 総務防災係	750-0317	下関市菊川町大字下岡枝1480-1 下関市菊川総合支所	083-287-1112	083-287-2739
豊田	地域政策課 総務防災係	750-0421	下関市豊田町大字殿敷 1918-1 下関市豊田総合支所	083-766-1051	083-766-2683
豊浦	地域政策課 総務防災係	759-6301	下関市豊浦町大字川棚 6895-1 下関市豊浦総合支所	083-772-0612	083-774-3305
豊北	地域政策課 総務防災係	759-5592	下関市豊北町大字滝部 3140-1 下関市豊北総合支所	083-782-0063	083-782-1717
宇部市	健康福祉部 地域福祉課 地域福祉係	755-8601	宇部市常盤町 1-7-1	0836-34-8325	0836-22-6026
山口市	健康福祉部 地域福祉課 地域福祉担当	753-8650	山口市龜山町 2-1	083-934-2790	083-934-5087
徳地	総合サービス課 健康福祉担当	747-0292	山口市徳地堀 1561-1 山口市徳地総合支所	0835-52-1121	0835-52-0760
秋穂	総合サービス課 健康福祉担当	754-1101	山口市秋穂東 6570 山口市秋穂総合支所	083-984-8023	083-984-8041
小郡	総合サービス課 健康福祉担当	754-8511	山口市小郡下郷 609-1 山口市小郡総合支所	083-973-8145	083-974-4387
阿知須	総合サービス課 健康福祉担当	754-1292	山口市阿知須 2743 山口市阿知須総合支所	0836-65-4114	0836-65-5188
阿東	総合サービス課 健康福祉担当	759-1512	山口市阿東徳佐中 3417-2 山口市阿東総合支所	083-956-0157	083-956-0680
萩市	福祉部 福祉政策課 地域福祉係	758-8555	萩市大字江向 510	0838-25-3550	0838-25-3232
川上	市民生活部門	758-0141	萩市川上 4462-1 萩市川上総合事務所	0838-54-2121	0838-54-2430
田万川	市民生活部門	759-3112	萩市大字下田万 1036 萩市田万川総合事務所	08387-2-0300	08387-2-0303
むつみ	市民生活部門	758-0304	萩市大字吉部上 3191-1 萩市むつみ総合事務所	08388-6-0211	08388-6-0218
須佐	市民生活部門	759-3411	萩市大字須佐 4570-5 萩市須佐総合事務所	08387-6-2016	08387-6-3894
旭	市民生活部門	754-0411	萩市大字明木 3174 萩市旭総合事務所	0838-55-0211	0838-55-0217
福栄	市民生活部門	758-0212	萩市大字福井下 3999-6 萩市福栄総合事務所	0838-52-0121	0838-52-0262
防府市	福祉部 福祉総務課 福祉政策係	747-8501	防府市寿町 7-1	0835-25-2349	0835-25-2549
下松市	健康福祉部 地域福祉課 福祉総務係	744-0085	下松市大手町 3-3-3	0833-45-1833	0833-41-1515
岩国市	福祉部 福祉政策課 政策推進班	740-8585	岩国市今津町 1-14-51	0827-29-5070	0827-21-3337
由宇	市民福祉課 福祉班	740-1428	岩国市由宇町中央 1-1-10 岩国市由宇総合支所	0827-63-1113	0827-63-3427

玖珂	福祉班	742-0392	岩国市玖珂町4933-2 岩国市玖珂支所	0827-82-2511	0827-82-6139
本郷	市民福祉班	740-0602	岩国市本郷町本郷 2082-1 岩国市本郷支所	0827-75-2582	0827-75-2366
周東	市民福祉課 福祉班	742-0492	岩国市周東町下久原 1208-1 岩国市周東総合支所	0827-84-1112	0827-84-7711
錦	市民福祉課 福祉班	740-0724	岩国市錦町広瀬 12-8 岩国市錦総合支所	0827-72-2112	0827-72-2120
美川	市民福祉班	740-0502	岩国市美川町四馬神 1057 岩国市美川支所	0827-76-0311	0827-76-0863
美和	市民福祉課 福祉班	740-1231	岩国市美和町生見 12126 岩国市美和総合支所	0827-96-1113	0827-96-1712
光市	福祉保健部 福祉総務課 福祉総務係	743-0011	光市光井 2-2-1 あいばく光	0833-74-3000	0833-74-3070
長門市	健康福祉部 地域福祉課 地域福祉班	759-4192	長門市東深川 1339-2	0837-23-1245	0837-22-3680
日置	窓口・健康福祉担当	759-4401	長門市日置上5914-3 長門市日置支所	0837-37-2111	0837-37-2567
三隅	窓口・健康福祉担当	759-3802	長門市三隅中1473 長門市三隅支所	0837-43-0221	0837-42-0555
油谷	窓口・健康福祉担当	759-4503	長門市油谷新別名1003-1 長門市油谷支所	0837-32-1111	0837-33-2778
柳井市	健康福祉部 社会福祉課	742-8714	柳井市南町 1-10-2	0820-22-2111	0820-23-7566
美祢市	市民福祉部 福祉課 地域福祉班	759-2292	美祢市大嶺町東分 326-1	0837-52-5227	0837-52-1490
周南市	福祉部 地域福祉課	745-8655	周南市岐山通 1-1	0834-22-8465	0834-22-8396
新南陽	市民福祉課	746-0034	周南市富田 1-1-1 周南市新南陽総合支所	0834-61-4114	0834-61-4242
熊毛	市民福祉課	745-0663	周南市熊毛中央町 1-1 周南市熊毛総合支所	0833-92-0012	0833-92-0189
鹿野	市民福祉課	745-0302	周南市大字鹿野上 3189-1 周南市鹿野総合支所	0834-68-2333	0834-68-2104
山陽小野田市	福祉部 社会福祉課 地域福祉係	756-8601	山陽小野田市日の出 1-1-1	0836-82-1174	0836-81-5695
東部	柳井健康福祉センター 保健福祉・総務室	742-0031	柳井市南町 3-9-3 山口県柳井総合庁舎	0820-22-3777	0820-22-3895
周防大島町	健康福祉部 福祉課	742-2806	周防大島町大字西安下庄 3920-21	0820-77-5505	0820-77-5111
和木町	社会福祉協議会	740-0061	和木町和木 2-15-22	0827-52-8644	0827-53-2822
上関町	保健福祉課 社会福祉係	742-1402	上関町大字長島 448	0820-62-0184	0820-62-1541
田布施町	町民福祉課 福祉係	742-1592	田布施町大字下田布施 3440-1	0820-52-5810	0820-52-5967
平生町	町民福祉課 地域福祉班	742-1195	平生町大字平生町 210-1	0820-56-7113	0820-56-7116
阿武町	社会福祉協議会	759-3622	阿武町大字奈古 3081-5	08388-2-2615	08388-2-3615

救急法等講習実施状況

令和6年4月1日～令和7年3月31日

開催地	救急法		水上安全法		雪上安全法		健康生活支援講習		幼児安全法		家庭あんま術	回数合計	受講人数
	基礎	救急員養成	短期	養成Ⅰ	養成Ⅱ	養成Ⅰ	養成Ⅱ	支援員養成	短期	支援員養成			
下関市	1	1	12			1						15	465
宇部市	1	1	40							3		45	1,427
山口市	4	5	62	1			3	1	1	12		89	2,352
萩市	2	1	4									7	231
防府市	1		13			1				1		16	441
下松市			13									13	797
岩国市	1	1	53			9				1		65	2,029
光市			11			1				1		13	538
長門市												0	0
柳井市	1		4							3		8	85
美祢市	1		5									6	122
周南市	1	1	25							1		28	1,331
山陽小野田市	1		21							1		23	969
周防大島町	1		6							1		8	126
和木町												0	0
上関町			1									1	21
田布施町			3									3	77
平生町			1			3						4	214
阿武町			1									1	20
回数合計	15	10	275	1	0	15	0	3	1	1	24	345	-
受講人数	255	124	9,510	12	0	642	0	27	52	10	613	-	11,245



山口県青少年赤十字加盟園・校一覧

令和7年3月31日現在

1. 保育園

連番	市	保育園名
1	岩国市	清華
2	岩国市	ひろせ
3	山口市	きらきら星
計	3 園	

幼保	20 園
小学校	110 校
中学校	37 校
高等学校	35 校
総合支援学校	1 校
計	203 園・校

2. 幼稚園

連番	市	幼稚園名	連番	市	幼稚園名
1	岩国	岩国南	11	山口市	野田学園
2	山口市	宮野	12	山口市	藤村学園旭
3	山口市	吉敷	13	山口市	亀山
4	山口市	平川	14	山口市	明星
5	山口市	山口みなみこども園	15	山口市	山口中央
6	山口市	仁保	16	下関市	もみじ学園
7	山口市	小鯖	17	萩市	萩
8	山口市	大内	計	17 園	
9	山口市	山口県鴻城高等学校付属			
10	山口市	阿知須			

3. 小学校

連番	小学校名		連番	小学校名		連番	小学校名	
1	岩国市立	小瀬	38	光市立	上島田	75	防府市立	向島
2	岩国市立	御庄	39	光市立	浅江	76	防府市立	中関
3	岩国市立	藤河	40	光市立	光井	77	防府市立	華城
4	岩国市立	杭名	41	光市立	周防	78	防府市立	小野
5	岩国市立	河内	42	光市立	塩田	79	防府市立	右田
6	岩国市立	通津	43	光市立	三輪	80	防府市立	大道
7	岩国市立	装港	44	光市立	岩田	81	宇部市立	厚東
8	岩国市立	川下	45	光市立	束荷	82	宇部市立	二俣瀬
9	岩国市立	愛宕	46	周南市立	櫛浜	83	宇部市立	小野
10	岩国市立	灘	47	周南市立	菊川	84	宇部市立	小羽山
11	岩国市立	由西	48	周南市立	岐山	85	宇部市立	藤山
12	岩国市立	そお	49	周南市立	須磨	86	宇部市立	黒石
13	岩国市立	川上	50	周南市立	周陽	87	宇部市立	吉部
14	岩国市立	修成	51	周南市立	桜木	88	山陽小野田市立	高千帆
15	岩国市立	周北	52	周南市立	秋月	89	山陽小野田市立	小野田
16	岩国市立	柱野	53	周南市立	鼓南	90	山陽小野田市立	本山
17	岩国市立	錦清流	54	周南市立	富田東	91	山陽小野田市立	赤崎
18	岩国市立	美和	55	周南市立	三丘	92	美祿市立	厚保
19	岩国市立	平田	56	周南市立	高水	93	美祿市立	於福
20	和木町立	和木	57	周南市立	沼城	94	美祿市立	豊田前
21	柳井市立	日積	58	周南市立	久米	95	美祿市立	秋吉
22	柳井市立	柳井	59	周南市立	大河内	96	下関市立	養治
23	柳井市立	伊陸	60	周南市立	八代	97	下関市立	関西
24	柳井市立	柳井南	61	山口市立	大殿	98	下関市立	清末
25	柳井市立	柳東	62	山口市立	湯田	99	下関市立	豊浦
26	周防大島町立	島中	63	山口市立	良城	100	下関市立	吉見
27	平生町立	佐賀	64	山口市立	平川	101	下関市立	小串
28	田布施町立	麻郷	65	山口市立	嘉川	102	下関市立	宇賀
29	下松市立	下松	66	山口市立	興進	103	下関市立	吉田
30	下松市立	久保	67	山口市立	佐山	104	下関市立	垢田
31	下松市立	公集	68	山口市立	仁保	105	下関市立	室津
32	下松市立	豊井	69	山口市立	小郡	106	萩市立	椿東
33	下松市立	花岡	70	山口市立	大海	107	萩市立	佐々並
34	下松市立	中村	71	山口市立	阿知須	108	萩市立	大島
35	下松市立	東陽	72	山口市立	島地	109	萩市立	明木
36	光市立	室積	73	防府市立	富海	110	萩市立	育英
37	光市立	島田	74	防府市立	勝間	計	110 校	

4. 中学校

連番	中学校名	
1	岩国市立	灘
2	和木町立	和木
3	柳井市立	柳井
4	柳井市立	大島
5	周防大島町	周防大島
6	下松市立	末武
7	周南市立	鹿野
8	周南市立	鼓南
9	山口市立	大殿
10	山口市立	白石
11	山口市立	湯田
12	山口市立	鴻南
13	山口市立	平川
14	山口市立	小郡
15	山口市立	秋穂
16	山口市立	川西
17	防府市立	富海
18	防府市立	国府
19	防府市立	小野
20	防府市立	大道
21	防府市立	右田

連番	中学校名	
22	宇部市立	黒石
23	山陽小野田市立	竜王
24	美祢市立	厚保
25	美祢市立	秋芳
26	美祢市立	大嶺
27	下関市立	安岡
28	下関市立	豊北
29	下関市立	梅光学院
30	萩市立	越ヶ浜
31	萩市立	須佐
32	萩市立	旭
33	萩市立	大島
34	長門市立	仙崎
35	長門市立	三隅
36	長門市立	菱海
37	阿武町立	阿武
計	37 校	

5. 高等学校

連番	高等学校名	
1	熊毛南	
2	光	
3	聖光	
4	華陵	
5	下松工業	
6	徳山	
7	新南陽	
8	徳山商工	
9	南陽工業	
10	防府	
11	防府西	
12	防府商工	
13	高川学園	
14	山口	
15	山口高校徳佐分校	
16	山口中央	
17	西京	
18	中村女子	
19	山口県鴻城	
20	萩	

連番	高等学校名	
21	萩商工	
22	宇部中央	
23	宇部西	
24	宇部商業	
25	宇部工業	
26	宇部フロンティア大学付属香川	
27	小野田	
28	豊浦	
29	長府	
30	下関西	
31	下関南	
32	下関北	
33	下関工科	
34	下関商業	
35	梅光学院	
計	35 校	

6. 総合支援学校

連番	総合支援学校名	
1	山口南総合	
計	1 校	

赤十字奉仕団一覽表

令和7年3月末現在

◎地域奉仕団

番号	奉仕団名	団員数	委員長名	結成年月日
1	下関市赤十字奉仕団	505	久永 春美	昭和50年6月11日
2	下関市豊北赤十字奉仕団	241	大森 麻里子	平成2年3月30日
3	宇部市赤十字奉仕団	290	中野 リエ子	平成21年5月15日
4	山口市赤十字奉仕団	60	吉田 芳子	昭和32年9月20日
5	山口市徳地赤十字奉仕団	110	蕨 昭子	昭和62年7月10日
6	山口市小郡赤十字奉仕団	79	井上 美代子	昭和62年4月1日
7	山口市阿東赤十字奉仕団	200	松浦 富子	平成6年5月1日
8	萩市赤十字奉仕団	43	久保 千枝子	昭和43年8月23日
9	萩市川上赤十字奉仕団	20	横山 恵子	平成9年9月1日
10	萩市江崎赤十字奉仕団	83	藤井 友絵	平成9年10月20日
11	萩市小川赤十字奉仕団	48	友中 鈴江	平成9年10月20日
12	萩市むつみ赤十字奉仕団	14	中尾 里子	平成8年4月1日
13	萩市須佐赤十字奉仕団	97	田村 光子	平成7年4月4日
14	萩市旭赤十字奉仕団	134	藤家 幸子	昭和55年9月1日
15	萩市福栄赤十字奉仕団	15	藤原 博行	令和2年10月1日
16	防府市赤十字奉仕団	352	山村 美津江	昭和36年4月13日
17	下松市赤十字奉仕団	353	古田 尊子	昭和32年4月1日
18	岩国市赤十字奉仕団	210	藤谷 允子	昭和56年2月1日
19	岩国市由宇町赤十字奉仕団	70	升田 雅子	昭和53年8月3日
20	岩国市玖珂町赤十字奉仕団	61	室口 美千子	平成7年4月1日
21	岩国市本郷町赤十字奉仕団	59	藤本 千壽恵	平成8年4月1日
22	岩国市周東町赤十字奉仕団	120	新谷 絹代	平成4年9月8日
23	岩国市美川町赤十字奉仕団	64	上村 康子	平成7年9月1日
24	岩国市美和町赤十字奉仕団	74	宇津本 ミドリ	平成9年1月31日
25	長門市赤十字奉仕団	149	長井 貞美	昭和57年4月1日
26	長門市三隅赤十字奉仕団	25	竹林 敏子	平成9年2月17日
27	長門市日置赤十字奉仕団	53	前原 喜久子	平成7年11月20日
28	長門市油谷赤十字奉仕団	5	森本 ミチコ	昭和56年4月1日
29	柳井市赤十字奉仕団	385	嬉 静恵	昭和29年10月1日
30	美祢市赤十字奉仕団	130	木島 和世	昭和48年9月1日
31	周南市徳山赤十字奉仕団	71	石田 睦子	昭和39年10月10日

番号	奉仕団名	団員数	委員長名	結成年月日
32	周南市熊毛赤十字奉仕団	50	佐久田 美智枝	平成9年5月1日
33	周南市鹿野赤十字奉仕団	50	有國 美恵子	平成3年4月1日
34	山陽小野田市赤十字奉仕団	440	岡部 つや子	昭和35年4月1日
35	周防大島町赤十字奉仕団	67	中元 みどり	平成26年4月1日
36	和木町赤十字奉仕団	141	藤本 亮恵	平成7年9月1日
37	上関町赤十字奉仕団	255	藤本 壽代	昭和63年9月1日
38	田布施町赤十字奉仕団	500	中原 和枝	昭和63年9月1日
39	平生町赤十字奉仕団	754	山田 博子	令和3年9月1日
40	阿武町赤十字奉仕団	273	藤田 恒代	平成7年7月27日
	合計 40 団	6,650		

◎青年奉仕団

番号	奉仕団名	団員数	委員長名	結成年月日
1	宇部青年赤十字奉仕団	12	徳田 文範	昭和39年4月1日
2	山口大学学生赤十字奉仕団	65	保田 健太	昭和47年6月22日
3	山口県立大学学生赤十字奉仕団	10	中上 彩音	平成29年2月15日
	合計 3 団	87		

◎特殊奉仕団

番号	奉仕団名	団員数	委員長名	結成年月日
1	山口県赤十字安全奉仕団	148	大立 浩嗣	昭和60年4月5日
2	山口県赤十字アマチュア無線奉仕団	85	上利 雅幸	平成2年3月25日
3	山口県青少年赤十字賛助奉仕団	36	有馬 重人	平成15年6月10日
4	岩国赤十字災害救護奉仕団	39	松井 謙治	平成15年7月22日
5	山口県赤十字防災奉仕団	49	藤本 浩志	平成18年4月22日
	合計 5 団	357		

◎個人ボランティア(山口赤十字病院)

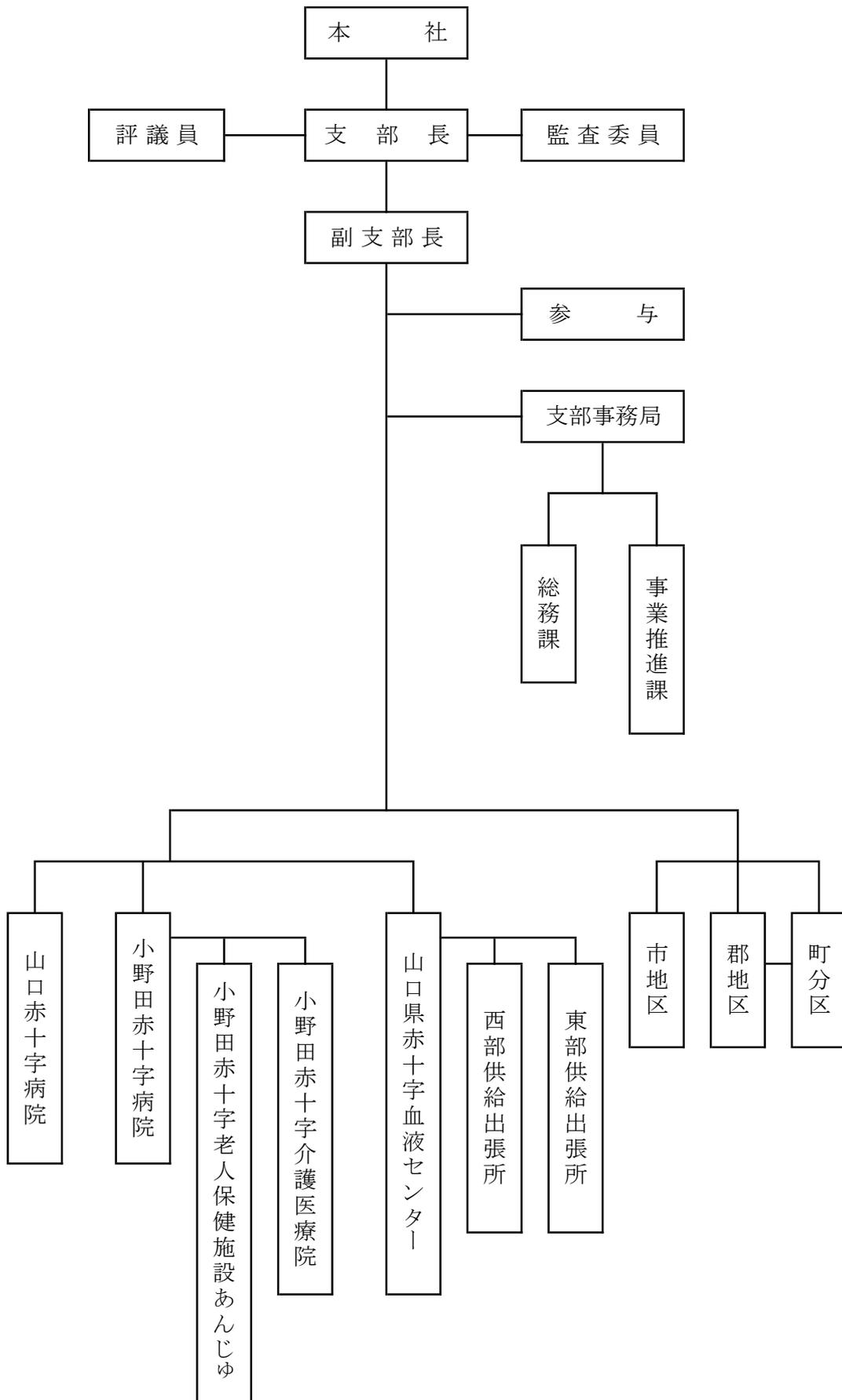
番号	人数
1	32

令和6年度 活動資金募集進展状況表

令和6年4月～令和7年3月末

地区名	一 般				法 人				合 計			
	目標額 千円	実績額 円	達成率 %	前年度との 比較 千円	目標額 千円	実績額 円	達成率 %	前年度との 比較 千円	目標額 千円	実績額 円	達成率 %	前年度との 比較 千円
下関市	32,351	25,365,063	78.4	▲ 306	4,278	2,741,952	64.1	▲ 979	36,629	28,107,015	76.7	▲ 1,285
宇部市	20,553	20,317,398	98.9	385	2,590	1,917,100	74.0	▲ 225	23,143	22,234,498	96.1	160
山口市	25,585	23,561,184	92.1	▲ 811	3,284	3,083,890	93.9	▲ 169	28,869	26,645,074	92.3	▲ 980
萩・阿武	5,712	4,820,945	84.4	▲ 6	678	592,000	87.3	74	6,390	5,412,945	84.7	68
防府市	14,127	13,989,385	99.0	▲ 1	1,670	1,164,000	69.7	82	15,797	15,153,385	95.9	81
下松市	7,106	6,725,550	94.6	▲ 549	950	727,000	76.5	▲ 25	8,056	7,452,550	92.5	▲ 574
岩国市	16,303	14,053,870	86.2	▲ 152	1,898	1,769,550	93.2	271	18,201	15,823,420	86.9	118
光市	6,137	8,471,213	138.0	226	626	630,000	100.6	▲ 80	6,763	9,101,213	134.6	146
長門市	3,910	4,808,000	123.0	▲ 174	506	415,555	82.1	108	4,416	5,223,555	118.3	▲ 67
柳井市	3,893	5,024,622	129.1	▲ 123	543	601,000	110.7	237	4,436	5,625,622	126.8	114
美祿市	2,601	4,026,170	154.8	220	356	357,000	100.3	64	2,957	4,383,170	148.2	284
周南市	18,020	13,013,703	72.2	154	3,801	1,894,656	49.8	▲ 257	21,821	14,908,359	68.3	▲ 103
山陽小野田市	7,446	5,742,650	77.1	▲ 623	1,120	734,000	65.5	▲ 23	8,566	6,476,650	75.6	▲ 646
地区計	163,744	149,919,753	91.6	▲ 1,761	22,300	16,627,703	74.6	▲ 922	186,044	166,547,456	89.5	▲ 2,683
周防大島町	1,853	2,979,236	160.8	▲ 44	170	185,000	108.8	80	2,023	3,164,236	156.4	36
和木町	680	810,400	119.2	49	113	69,000	61.1	▲ 752	793	879,400	110.9	▲ 703
上関町	306	339,000	110.8	▲ 32	53	35,000	66.0	▲ 5	359	374,000	104.2	▲ 37
田布施町	1,700	2,381,150	140.1	▲ 6	200	124,000	62.0	4	1,900	2,505,150	131.9	▲ 2
平生町	1,343	1,746,500	130.0	▲ 73	127	120,000	94.5	0	1,470	1,866,500	127.0	▲ 73
阿武町	374	689,986	184.5	31	37	30,000	81.1	▲ 30	411	719,986	175.2	1
分区計	6,256	8,946,272	143.0	▲ 74	700	563,000	80.4	▲ 703	6,956	9,509,272	136.7	▲ 777
支部	5,000	20,440,672	408.8	2,177	2,000	4,337,623	216.9	▲ 12,390	7,000	24,778,295	354.0	▲ 10,212
合 計	175,000	179,306,697	102.5	342	25,000	21,528,326	86.1	▲ 14,015	200,000	200,835,023	100.4	▲ 13,673

日本赤十字社山口県支部組織図



山口県支部の情報はこちら



ホームページ



〒753-0094 山口市野田 172-5
TEL 083-922-0102 FAX 083-932-3615 MAIL info@yamaguchi.jrc.or.jp